

1 血液循環の順路で正しいのはどれか。

- a 左心室 → 大静脈
- b 大動脈 → 右心房
- c 右心室 → 肺静脈
- d 肺静脈 → 左心房
- e 右心室 → 右心房

2 下顎神経の枝はどれか。

- a 前頭神経
- b 翼口蓋神経
- c 鼻毛様体神経
- d 下歯槽神経
- e 眼窩下神経

3 貪食するのはどれか。

- a 好中球
- b NK 細胞
- c 形質細胞
- d T 細胞
- e B 細胞

4 局所麻酔薬の効果を持続させるのはどれか。

- a 塩酸プロプラノロール
- b 塩酸プラゾシン
- c 塩酸エピネフリン
- d 硫酸アトロピン
- e 塩酸イソプレナリン

5 咬合性外傷の原因となるのはどれか。

- (1) 早期接触
- (2) 辺縁不適合冠
- (3) 鼻呼吸
- (4) 低位歯
- (5) ブラキシズム

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

6 高速切削が必要なのはどれか。

- (1) エナメル質の切削
- (2) 軟化象牙質の除去
- (3) 窩洞の仕上げ
- (4) 根管口の明示
- (5) 全部鑄造冠の除去

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

7 病歴聴取で誤っている組合せはどれか。

- a 主 訴 ————— 受診の理由
- b 現病歴 ————— 症状の始まりと経過
- c 既往歴 ————— 現在の健康状態
- d 家族歴 ————— 家族や近親者の健康状態
- e 患者背景 ————— 生活上の習慣や環境

8 歯髄の感覚はどれか。

a 冷 覚

b 温 覚

c 圧 覚

d 痛 覚

e 触 覚

9 歯周基本治療に含まれないのはどれか。

- a 口腔清掃指導
- b スケーリング
- c ルートプレーニング
- d 口腔悪習癖の改善
- e ENAP

10 ノーマライゼーションに該当するのはどれか。

- (1) デイサービス
- (2) 個室入院
- (3) 生活保護
- (4) シートベルト
- (5) バリアフリー

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

11 歯科衛生士が作成するのはどれか。

- a 診療録
- b 診断書
- c 処方せん
- d 技工指示書
- e 業務記録

12 健康日本 21 の 12 歳児における 1 人平均齲歯数 (DMF 指数) の目標値はどれか。

a 1

b 2

c 3

d 4

e 5

13 脱落時期で誤っている組合せはどれか。

- a 乳中切歯 ————— 3～4 歳
- b 乳側切歯 ————— 7～8 歳
- c 乳犬歯 ————— 9～12 歳
- d 第一乳臼歯 ————— 9～11 歳
- e 第二乳臼歯 ————— 10～12 歳

14 パノラマエックス線写真で観察できるのはどれか。

- (1) 歯肉嚢胞
- (2) 単純性骨嚢胞
- (3) 原始性嚢胞
- (4) 鼻歯槽嚢胞
- (5) 類皮嚢胞

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

15 歯に関連する病変はどれか。

- (1) Bednar アフタ
- (2) Riga-Fede 病
- (3) 萌出嚢胞
- (4) Fordyce 斑
- (5) ガマ腫

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

16 C型肝炎で正しいのはどれか。

- (1) 我が国の感染者は約 20 万人である。
- (2) 血液を介して感染する。
- (3) 肝硬変、肝癌へ進行しやすい。
- (4) B型肝炎に比べ慢性化の頻度が高い。
- (5) 有効なワクチンがある。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

17 救急蘇生法で正しいのはどれか。

- a 人工呼吸は酸素吸入に先立って行う。
- b マスクを用いた酸素流量は 1,000 ml/分とする。
- c 心マッサージは 10 回/分で行う。
- d 心マッサージと人工呼吸との回数比は救助者数によらず一定とする。
- e 人工呼吸ができない場合、心マッサージだけ行ってもよい。

18 歯髄の生死を診査する方法はどれか。

- a 麻酔診
- b 動揺度検査
- c 打診
- d インピーダンス測定検査
- e 電気診

19 高齢者にみられるのはどれか。

- (1) 口腔粘膜の萎縮
- (2) 唾液分泌量の増加
- (3) 歯髄腔の拡大
- (4) 顎堤の吸収
- (5) 咬耗の進行

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

20 医療面接で正しい組合せはどれか。

- (1) 対話のマナー ————— 患者の目を凝視する
- (2) 態 度 ————— 患者の意見を尊重する
- (3) 身だしなみ ————— 清潔な服装をする
- (4) プライバシーの保護, ————— 思想信条を聞く
- (5) コミュニケーションの進め方 ————— 複数の質問を同時に行う

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

21 感染防止で正しいのはどれか。

- (1) ハンドピースは患者ごとに滅菌する。
- (2) 正確な支台歯形成のためグローブは外す。
- (3) 注射針のリキャップは両手で行う。
- (4) 針刺し事故では最初にアルコール消毒をする。
- (5) 手洗いでは指先や指間の洗い残しに注意する。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

22 正面セファロ分析で得られるのはどれか。

- a 頭蓋底前後径
- b 上顎骨前後径
- c 下顎骨骨体長
- d 下顎骨側方偏位量
- e 上顎切歯唇側傾斜度

23 生理的年齡の指標はどれか。

(1) Rohrer 指数

(2) 歯 齡

(3) 骨年齡

(4) 頭指数

(5) オーバーオールレイシオ

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

24 良性腫瘍の特徴はどれか。

- a 発育速度は緩慢
- b 浸潤性に発育
- c 周囲組織と癒着
- d 境界は不明瞭
- e 易転移性

25 一次救命処置はどれか。

- a 気管内挿管による気道確保
- b バッグ・マスクによる人工呼吸
- c 静脈路の確保
- d 電氣的除細動
- e 塩酸エピネフリン投与

26 正しいのはどれか。

- a 脈は尺骨動脈で調べる。
- b 脈の性状は母指 1 指で診断する。
- c 健康成人の脈拍数は 30～40 回/分である。
- d リズムの不規則なものを不整脈という。
- e 頻脈は血圧が高くなると起こる。

27 医の倫理が規定されているのはどれか。

- (1) アルマ・アタ宣言
- (2) オタワ憲章
- (3) ジュネーブ宣言
- (4) ヘルシンキ宣言
- (5) リスボン宣言

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

28 予防填塞材に使用されるのはどれか。

- (1) レジン
- (2) グラスアイオノマーセメント
- (3) リン酸亜鉛セメント
- (4) 酸化亜鉛ユージノールセメント
- (5) 歯科用アマルガム

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

29 硬化後に水分の授受で寸法変化が起こるのはどれか。

- (1) シリコーンゴム印象材
- (2) ポリサルファイドゴム印象材
- (3) アルジネート印象材
- (4) 寒天印象材
- (5) モデリングコンパウンド

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

30 エックス線の発生に必須なのはどれか。

- a タイマー
- b ろ 過
- c 絞 り
- d 指示用コーン
- e フィラメント

31 興奮伝導の三原則はどれか。

(1) 両方向性

(2) 絶縁性

(3) 跳躍性

(4) 遅延性

(5) 不減衰性

a (1)、(2)、(3) ;

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

32 糖を分解しない酵素はどれか。

- a アミラーゼ
- b マルターゼ
- c スクラーゼ
- d ヌクレアーゼ
- e ラクターゼ

33 腎糸球体でろ過されないのはどれか。

- a アルブミン
- b イヌリン
- c ブドウ糖
- d パラアミノ馬尿酸
- e カリウムイオン

34 血漿タンパク質はどれか。

- (1) フィブリノゲン
- (2) クレアチニン
- (3) トロンビン
- (4) ビリルビン
- (5) グロブリン

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

35 基底膜に多く含まれるコラーゲンの型はどれか。

a I

b II

c III

d IV

e V

36 象牙芽細胞に由来するのはどれか。

- a エナメル小柱
- b エナメル横紋
- c エナメル紡錘
- d エナメル叢
- e エナメル葉

- 37 歯根膜で歯軸方向の咬合圧に対して最も有効に働くのはどれか。
- a 歯槽頂線維群
 - b 水平線維群
 - c 斜走線維群
 - d 根尖線維群
 - e 根間線維群

38 誤っている組合せはどれか。

- a 篩 板 ————— 嗅神経
- b 齒槽孔 ————— 後上齒槽枝
- c 切齒孔 ————— 蝶口蓋神経
- d 頬骨顔面孔 ————— 頬骨神経
- e 茎乳突孔 ————— 顔面神経

39 下顎神経に支配されるのはどれか。

- (1) 顎二腹筋前腹
- (2) 顎二腹筋後腹
- (3) 茎突舌骨筋
- (4) オトガイ舌骨筋
- (5) 顎舌骨筋

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

39 下顎神経に支配されるのはどれか。

- (1) 顎二腹筋前腹
- (2) 顎二腹筋後腹
- (3) 茎突舌骨筋
- (4) オトガイ舌骨筋
- (5) 顎舌骨筋

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

41 上顎骨にあるのはどれか。

- (1) 筋突起
- (2) 歯槽突起
- (3) 頬骨突起
- (4) 眼窩突起
- (5) 翼状突起

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

42 痛覚受容器はどれか。

- a メルケル円板
- b ルフィニ小体
- c マイスネル小体
- d パチニ小体
- e 自由神経終末

43 正しいのはどれか。

- a 赤血球は有核細胞である。
- b マクロファージは顆粒球である。
- c 好中球は抗体を産生する。
- d B細胞は MHC に対する受容体をもつ。
- e 肥満細胞は I 型過敏症と関連する。

44 経口感染するのはどれか。

- a ムンプスウイルス
- b インフルエンザウイルス
- c ヘルペスウイルス
- d パピローマウイルス
- e ポリオウイルス

45 免疫寛容で正しいのはどれか。

- a 自己抗原に対して応答しない。
- b ヘルパー T 細胞が少ない。
- c 血清中の γ -グロブリン量が少ない。
- d 好中球の機能が低い。
- e 好中球が少ない。

46 ミュータンスレンサ球菌のグルカン合成酵素が属するのはどれか。

- a 酸化還元酵素
- b 転移酵素
- c 加水分解酵素
- d 異性化酵素
- e 除去付加酵素

47 口腔常在菌が関与するのはどれか。

- (1) 嚥下性肺炎
- (2) 偽膜性大腸炎
- (3) 出血性大腸炎
- (4) 原発性異型肺炎
- (5) 感染性心内膜炎

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

48 上顎突起と内側鼻突起との癒合不全で生じるのはどれか。

- a 口唇裂
- b 口蓋裂
- c 横顔裂
- d 斜顔裂
- e 正中唇裂

49 咬合平面と平行なのはどれか。

- a Camper 平面
- b フランクフルト平面
- c 眼窩平面
- d 正中矢状平面
- e 顔面平面

50 II型アレルギーが関与するのはどれか。

- (1) 糸球体腎炎
- (2) 結核
- (3) アレルギー性鼻炎
- (4) 胎児性赤芽球症
- (5) 尋常性天疱瘡

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

51 テトラサイクリンが作用するのはどれか。

- a 細胞壁
- b 莢膜
- c リボソーム
- d 核
- e 鞭毛

- 52 抗菌薬の最小発育阻止濃度(MIC)で正しいのはどれか。
- a 大きいほど発育阻止円は大きい。
 - b 小さいほど抗菌力は強い。
 - c 100 倍に希釈した薬剤を用いて測定する。
 - d 同じ細菌種は同じ MIC を示す。
 - e 最小殺菌濃度(MBC)の $1/2$ である。

53 シチューを再加熱して食べたところ、2時間後に嘔吐と腹痛とが起こった。
疑われるのはどれか。

- a 病原性大腸菌
- b レンサ球菌
- c コレラ菌
- d 黄色ブドウ球菌
- e サルモネラ菌

54 前癌病変はどれか。

- (1) 乳腺炎
- (2) 白板症
- (3) 肝硬変
- (4) 胃カタル
- (5) 虚血性大腸炎

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

55 全身性に起こるのはどれか。

- (1) 腎性浮腫
- (2) リンパ性浮腫
- (3) 血管神経性浮腫
- (4) アレルギー性浮腫
- (5) 内分泌性浮腫

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

56 頬粘膜における黄色、顆粒状の所見で疑われるのはどれか。

- a 脂肪腫
- b 粘液腫
- c エプーリス
- d Fordyce 斑
- e 上皮真珠

57 流行性耳下腺炎と関連がないのはどれか。

- a ウイルス
- b 小 児
- c 不 妊
- d 板状硬結
- e 頬部腫脹

58 神経線維周囲に浸潤しやすいのはどれか。

- a 多形性腺腫
- b 腺リンパ腫
- c 腺 癌
- d 粘表皮癌
- e 腺様嚢胞癌

59 口腔粘膜上皮下にリンパ球が帯状に浸潤するのはどれか。

- a 帯状疱疹
- b 白板症
- c 扁平苔癬
- d 尋常性天疱瘡
- e カンジダ症

60 過度のダイエットで血中濃度が上昇するのはどれか。

(1) コレステロール

(2) 脂肪酸

(3) ケトン体

(4) インスリン

(5) グルコース

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

61 造影 CT の適応となるのはどれか。

- a 骨破壊の範囲
- b リンパ節転移の有無
- c 骨折の有無
- d 上顎洞粘膜の肥厚の有無
- e 関節円板の位置

62 口内法エックス線写真(別冊No. 1)を別に示す。

誤っているのはどれか。

- a ①は乳側切歯
- b ②は頬側咬頭
- c ③は金属修復物
- d ④は上顎洞底線
- e ⑤は鼻腔底



63 唾液腺造影法の適応となるのはどれか。

- a 舌下腺腫瘍
- b 急性耳下腺炎
- c 口蓋部多形性腺腫
- d Blandin-Nuhn 腺嚢胞
- e Sjögren 症候群

64 口腔癌の病理組織検査で正しいのはどれか。

- (1) 生検では健常部を含んで採取する。
- (2) 標本の固定には 10% 中性ホルマリン液を用いる。
- (3) 顎骨材料は脱灰後、固定液に入れる。
- (4) 手術時の迅速診断用材料はパラフィンで包埋する。
- (5) 細胞診標本では Papanicolaou 染色をする。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

- 65 臨床試験実施基準(GCP)で患者への説明が義務付けられていないのはどれか。
- a 起こるかもしれない副作用
 - b 他の治療法とその内容
 - c 断っても不利益を受けない保証
 - d 途中でも中止できること
 - e 試験結果の通知

66 アナフィラキシーショックの治療に用いるのはどれか。

- a 硫酸アトロピン
- b 塩酸ニフェジピン
- c ジアゼパム
- d 塩酸エピネフリン
- e 塩酸ペンタゾシン

67 抜歯時にリスクが高いのはどれか。

- (1) 妊娠 4 週
- (2) 心室性期外収縮 10 回/分
- (3) 血小板数 $15 \times 10^4 / \mu l$
- (4) 収縮期血圧 140 mmHg
- (5) 心筋梗塞発症後 1 か月

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

68 高齢者の生理的特徴で誤っているのはどれか。

- a 肝機能の低下
- b 骨量の減少
- c 肺コンプライアンスの低下
- d 体脂肪量比の減少
- e 腎血流量の低下

69 片側性の顔面筋麻痺、味覚障害および唾液分泌障害を併発している。

障害部位はどれか。

- a 顔面神経核
- b 膝神経節より中枢
- c アブミ骨筋枝と膝神経節との間
- d アブミ骨筋枝と鼓索神経との間
- e 鼓索神経より末梢

70 アスピリン投与で異常値を示すのはどれか。

- (1) 血小板数
- (2) 血小板凝集能
- (3) 出血時間
- (4) 毛細血管抵抗性
- (5) 活性部分トロンボプラスチン時間

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

71 α_1 受容体を介して生じる現象はどれか。

- a 神経伝達の抑制
- b 心筋収縮力の低下
- c 血糖値の上昇
- d 内臓血管の拡張
- e 唾液分泌の促進

72 ピリンアレルギーの既往歴があり、経口抗凝血薬を常用している。

抜歯後の鎮痛に用いるのはどれか。

- a メフェナム酸
- b スルピリン
- c 塩酸モルヒネ
- d 塩酸チアラミド
- e アスピリン

73 薬物と受容体との組合せで正しいのはどれか。

- a 塩化アセチルコリン ————— アデノシン受容体
- b 塩酸ドパミン ————— セロトニン受容体
- c 塩酸プラゾシン ————— β -アドレナリン受容体
- d 塩酸モルヒネ ————— GABA_A 受容体
- e 塩酸ジフェンヒドラミン ————— ヒスタミン受容体

⋮

74 ニューキノロン系抗菌薬とフェンブフェンとの併用で生じる有害作用はどれか。

- a 味覚異常
- b けいれん
- c 幻 覚
- d 歯肉肥大
- e ジスルフィラム様効果

75 全身麻酔薬に臭化パンクロニウムを併用する目的はどれか。

- a 筋弛緩の促進
- b 導入時間の短縮
- c 血圧の安定化
- d 精神安定の持続
- e 疼痛閾値の上昇

76 高血圧症の治療を受けている患者に歯肉肥大が見られた。

服用していると考えられるのはどれか。

- a フェニトインナトリウム
- b ニフェジピン
- c シクロスポリン
- d 塩酸プロプラノロール
- e 塩酸プラゾシン

77 平行法撮影で中心線の入射部位はどれか。

- a 切縁部
- b 歯冠中央部
- c 歯頸部
- d 歯根中央部
- e 根尖部

78 間接電離放射線はどれか。

- a エックス線
- b アルファ線
- c ベータ線
- d 重粒子線
- e 紫外線

79 耳下腺疾患に用いる画像検査法はどれか。

(1) 超音波検査

(2) CT

(3) パノラマエックス線撮影

(4) エックス線頭部単純撮影

(5) シンチグラフィ

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

80 正しい組合せはどれか。

- a 口内法撮影 ————— 増感紙
- b パノラマエックス線撮影 ————— スリット
- c CT ————— 反射波
- d 超音波検査法 ————— 原子核のスピン
- e MRI ————— エックス線

81 隣接面齲蝕の検査で適切なものはどれか。

(1) 触 診

(2) 電気診

(3) 温度診

(4) 透照診

(5) エックス線検査

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

82 窩洞形成時の術者の位置でよく用いられるのはどれか。

- a 2 時
- b 4 時 30 分
- c 7 時
- d 9 時
- e 11 時 30 分

83 金属とコンポジットレジンとの接着に必要なのはどれか。

- (1) フッ化水素酸処理
- (2) 凹凸形成
- (3) 表面清浄
- (4) プライマー処理
- (5) シランカップリング

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

84 放射線の人体に対する影響で確率的な線量・反応関係を示すのはどれか。

- a 耳下腺機能低下
- b 放射線性骨髄炎
- c 白血球減少
- d 白内障誘発
- e 白血病誘発

85 エックス線写真の濃度を左右するのはどれか。

- a 現 像
- b 中間停止
- c 定 着
- d 水 洗
- e 乾 燥

86 フィルムに入射する散乱線の割合が増加するのはどれか。

- (1) 管電圧を高くする。
- (2) 総ろ過を大きくする。
- (3) 照射野を大きくする。
- (4) フィルムを被写体から離す。
- (5) 管電流を大きくする。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| a (1)、(2)、(3) | b (1)、(2)、(5) | c (1)、(4)、(5) |
| d (2)、(3)、(4) | e (3)、(4)、(5) | |

87 三叉神経痛の治療薬はどれか。

- (1) フェノバルビタール
- (2) ジアゼパム
- (3) カルバマゼピン
- (4) フェニトインナトリウム
- (5) カルバゾクロム

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

88 歯科診療所で用いられる滅菌法はどれか。

- (1) 薬液
- (2) 電子線
- (3) エチレンオキシドガス
- (4) 高圧蒸気
- (5) 低温プラズマ

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

89 放射線診療従業者の個人モニタリングに用いる線量計はどれか。

- (1) フィルムバッチ
- (2) 熱蛍光線量計
- (3) ガイガーミュラー(GM)計数管
- (4) シンチレーション計数器
- (5) ガラス蛍光線量計

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

90 医療法に抵触するのはどれか。

- (1) 看板に予防歯科と掲示した。
- (2) 新聞に校医であることを広告した。
- (3) 名刺に歯学博士と印刷した。
- (4) 入口に歯科医院と掲示しなかった。
- (5) インターネットに院長の学歴を載せた。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

91 食中毒の原因となるのはどれか。

- (1) 腸炎ビブリオ
- (2) サルモネラ
- (3) カンピロバクター
- (4) レジオネラ
- (5) クラミジア

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

92 歯科医師法に規定されているのはどれか。

- (1) 死体検案書の交付
- (2) 出生証明書の交付
- (3) 無診察治療の禁止
- (4) 療養方法等の指導義務
- (5) 処方せんによる覚せい剤の投与

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

93 振動させるブラッシング法はどれか。

- (1) バス法
- (2) スティルマン法
- (3) ローリング法
- (4) フォーンズ法
- (5) スクラビング法

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

94 学校伝染病で第二種に属するのはどれか。

- (1) コレラ
- (2) インフルエンザ
- (3) 百日咳
- (4) 流行性耳下腺炎
- (5) 腸管出血性大腸菌感染症

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

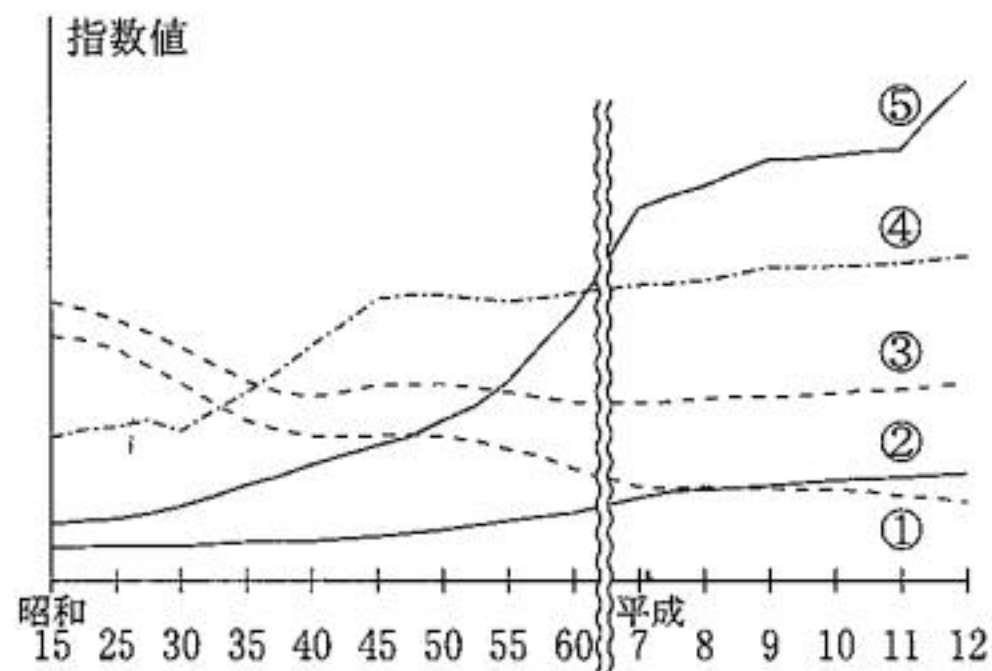
d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

95 ゴールドプラン 21 の具体的施策で正しいのはどれか。

- a 身体障害者相談支援事業
- b バリアフリーの促進
- c 元気高齢者づくり対策
- d 少子化対策実施計画
- e 介護家族訪問健康相談

96 我が国の人口構成割合の年次推移を図に示す。



老年化指数はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

97 齲蝕の宿主要因はどれか。

- (1) 唾液の pH
- (2) ミュータンスレンサ球菌数
- (3) 甘味飲料の摂取量
- (4) 歯の裂溝部の形態
- (5) 叢生の程度

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

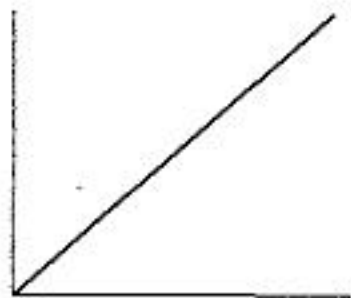
d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

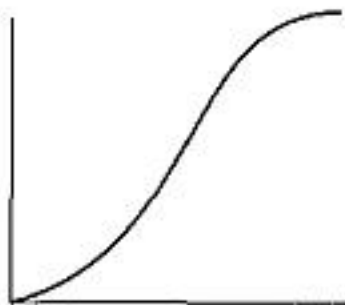
98 歯科医師法で5年間の保存が義務付けられているのはどれか。

- a 模 型
- b 病態写真
- c エックス線写真
- d 技工指示書
- e 診療録

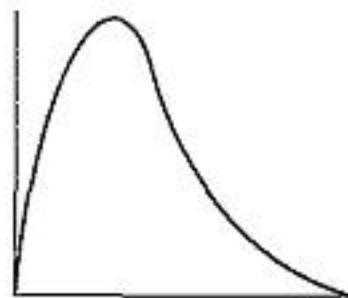
99 成人男子集団の体重の累積度数分布はどれか。



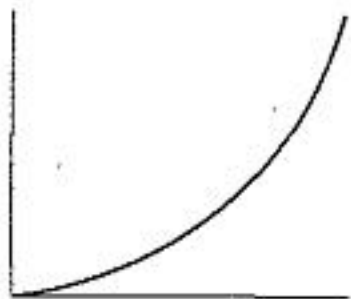
a



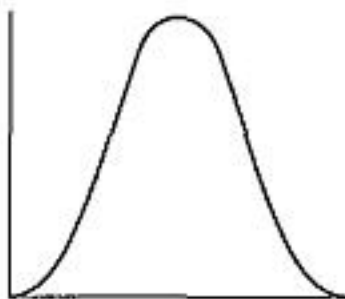
b



c



d



e

100 紫外線と関係が深いのはどれか。

- a オゾン層破壊
- b 地球温暖化
- c 酸性雨
- d 森林破壊
- e 砂漠化

:

101 住宅の必要換気量の目安はどれか。

- a 一酸化炭素
- b 二酸化炭素
- c 二酸化窒素
- d 酸素
- e 硫化水素

102 ジュネーブ宣言で謳われていないのはどれか。

- a 人類への奉仕の誓い
- b 恩師への尊敬と感謝の念
- c 患者の健康への考慮
- d 伝統ある医学の擁護
- e 医師の生活基盤の確保

103 歯科医師法に規定されている歯科医師の義務はどれか。

- (1) 診療所開設の届出
- (2) 従業員の管理
- (3) 処方せんの交付
- (4) 保健指導の実施
- (5) 学校健診の実施

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

104 下水の好氣的処理法はどれか。

(1) 沈殿法

(2) 曝氣法

(3) 活性汚泥法

(4) 腐敗法

(5) 消毒法

a (1)、(2)

b (1)、(5)

c (2)、(3)

d (3)、(4)

e (4)、(5)

105 我が国の医療保険制度で正しいのはどれか。

- (1) 自由加入
- (2) 保険料が一定
- (3) 現金給付
- (4) 診療行為の点数制
- (5) 一部負担金の徴収

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

106 老人保健法の保健事業で正しい組合せはどれか。

- (1) 集団健康教育 ————— 齲蝕の予防
- (2) 重点健康相談 ————— 歯周疾患
- (3) 健康診査 ————— 歯周疾患検診
- (4) 訪問指導 ————— 訪問口腔衛生指導
- (5) 機能訓練 ————— 咀嚼機能訓練

- a (1)、(2)、(3) ; b (1)、(2)、(5) c (1)、(4)、(5)
- d (2)、(3)、(4) e (3)、(4)、(5)

107 介護保険で正しいのはどれか。

- (1) 地域保険と職域保険とがある。
- (2) 市町村を保険者とする。
- (3) 社会保険の一つである。
- (4) 被保険者は任意加入である。
- (5) 被保険者は 65 歳以上である。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

108 法律で規定されている資格はどれか。

- (1) 歯科助手
- (2) 歯科技工士
- (3) 言語聴覚士
- (4) 介護福祉士
- (5) ソーシャルワーカー

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

109 最近の我が国の乳児死亡で誤っているのはどれか。

- a 新生児期に集中している。
- b 新生児死亡率は世界最低である。
- c 死亡率の地域格差は少ない。
- d 乳幼児突然死症候群が最も多い。
- e 感染症による死亡は少ない。

110 正しいのはどれか。

- a アウグスト乾湿計は気流の影響を受けにくい。
- b カタ寒暖計は輻射熱の影響を受けやすい。
- c 感覚温度は高温より低温で気流の影響を強く受ける。
- d 不快指数は気湿の影響を考慮していない。
- e 相対湿度は乾球温度、湿球温度と気流の数値から求める。

1 幼児の定期診査で必要な項目はどれか。

- (1) Moro 反射の有無
- (2) Rohrer 指数の判定
- (3) 食生活の内容
- (4) 臼歯の咬合状態
- (5) 齲蝕の有無

a (1)、(2)、(3) ;

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

2 内に入る語句の組合せで正しいのはどれか。

ディスタルシューは歯齡ⅡA期の ① の要抜去症例に適応される。本装置の目的は ② を正常な位置に誘導し、 ③ の萌出場所を確保することにある。

①

②

③

a 第一乳臼歯

第一大臼歯

第一小臼歯

b 第二乳臼歯

第一大臼歯

第一小臼歯

c 第二乳臼歯

第一大臼歯

第二小臼歯

d 第二乳臼歯

第一小臼歯

第一大臼歯

e 第二乳臼歯

第二小臼歯

第一大臼歯

3 乳歯齲蝕が好発する歯面で正しい組合せはどれか。

(1) 乳中切歯 ————— 近心隣接面

(2) 乳側切歯 ————— 遠心隣接面

(3) 乳犬歯 ————— 近心隣接面

(4) 第一乳臼歯 ————— 頬側面

(5) 第二乳臼歯 ————— 咬合面

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

4 乳歯の外傷で正しいのはどれか。

- (1) 破折が多い。
- (2) 女児に多い。
- (3) 4～5歳児に多い。
- (4) 転倒によるものが多い。
- (5) 上顎切歯部に多い。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

5 正しい組合せはどれか。

- | | | |
|--------------|-------|-----------|
| (1) 筋ジストロフィー | ————— | 神経伝達障害 |
| (2) 自閉症 | ————— | 進行性脳機能障害 |
| (3) 重症筋無力症 | ————— | クレアチン代謝異常 |
| (4) 精神発達遅滞 | ————— | 脳器質異常 |
| (5) 脳性麻痺 | ————— | 非進行性運動障害 |

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

6 1 歳児の歯科治療に適応できるのはどれか。

- a TSD 法
- b モデリング法
- c 抑制法
- d 母子分離法
- e 笑気吸入鎮静法

7 象牙質形成不全症で正しいのはどれか。

- a 歯髄腔の狭窄
- b タウロドントの発現
- c 歯根の肥大
- d 歯根の骨性癒着
- e 歯槽骨の吸収

8 Down 症候群児の歯科治療で注意すべき事項はどれか。

- a 暴力的行動
- b 不随意運動
- c けいれん発作
- d 易感染性
- e 過換気症状

9 母指吸引癖が関係するのはどれか。

- (1) 下顎近心位
- (2) 上顎前突
- (3) 上顎歯列弓の狭窄
- (4) 下顎前歯の唇側傾斜
- (5) 過蓋咬合

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

10 15歳の女子。上顎中切歯の動揺を主訴として来院した。全身的な特記所見はない。エックス線検査の結果、上顎中切歯と上下顎第一大臼歯との歯槽骨吸収が著明であった。

疑われる疾患はどれか。

- a 思春期前歯周炎
- b 外傷性歯肉炎
- c 急性壊死性潰瘍性歯肉炎
- d 若年性歯周炎
- e 急性単純性根尖性歯周炎

11 小児の発達で正しい組合せはどれか。

- a 人見知り ————— 3 か月
- b 排泄の予告 ————— 6 か月
- c コップを持って飲む ————— 10 か月
- d 自我の芽生え ————— 2 歳 10 か月
- e 衣服のボタン掛け ————— 3 歳 6 か月

12 フッ化ジアンミン銀の効果で正しいのはどれか。

- (1) 歯質耐酸性の向上
- (2) 再石灰化の促進
- (3) 抗菌作用
- (4) 歯垢溶解作用
- (5) 自浄作用の向上

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

13 鎖骨頭蓋異骨症の特徴で正しいのはどれか。

- a 大泉門の早期閉鎖
- b 小帯の異常
- c 乳歯の早期脱落
- d 永久歯の欠如
- e 中顔面の劣成長

14 Scammon の臓器発育曲線の一般型に含まれるのはどれか。

- a 筋 肉
- b 胸 腺
- c 脳
- d 脊 髄
- e 精 巢

15 レジン系材料の予防填塞で保持力を高めるのはどれか。

- (1) ラバーダム防湿
- (2) 歯面清掃
- (3) 歯面の酸処理
- (4) 填塞前のフッ化物塗布
- (5) 裂溝部の開拡

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

16 4歳の男児。齲蝕を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 1A、B)を別に示す。

応急処置後に行う口腔内環境の改善に必要なのはどれか。

- (1) 齲蝕活動性試験
- (2) プラークコントロール
- (3) 食生活指導
- (4) フッ化物歯面塗布
- (5) 予防填塞

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)



17 5歳の男児。上顎両側乳中切歯の齲蝕を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 2)を別に示す。

望ましい対応はどれか。

- a 経過観察
- b フッ化物歯面塗布
- c コンポジットレジン修復
- d アマルガム修復
- e 既製乳歯冠修復



18 10歳の男児。下顎左側第二小臼歯の自発痛を主訴として来院した。 $\overline{5}$ の歯冠部に齲窩はなく、電気診には反応しない。初診時のエックス線写真(別冊No. 3)を別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a アペキソゲネーシス
- b 抜 髄
- c アペキシフィケーション
- d 歯根尖切除
- e 抜 歯



19 15歳の女子。口唇部の疼痛を主訴として来院した。3日前の激しい運動後に症状が出現したという。初診時の口唇部の写真(別冊No. 4)を別に示す。

疑われる原因はどれか。

- a コクサッキーAウイルス
- b 単純ヘルペスウイルス
- c ムンプスウイルス
- d 風疹ウイルス
- e 麻疹ウイルス



20 2歳の女兒。保護者が歯肉の色調を心配して来院した。全身的な問題はないという。初診時の口腔内写真(別冊No. 5)を別に示す。

適切な対応はどれか。

- a 経過観察
- b 叢生の改善
- c 保護者への刷掃法の指導
- d 歯周ポケットの搔爬
- e 辺縁部歯肉の切除



21 4歳の女児。上顎乳前歯の齲蝕を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 6)を別に示す。

A/Aの歯冠修復に必要なのはどれか。

- (1) Tバンド
- (2) セルロイドストリップス
- (3) ウッドウェッジ
- (4) エリオットセパレーター
- (5) トッフルマイヤーリテーナー

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)



22 7歳の男児。学校歯科健診で下顎前歯部の歯列不正を指摘され来院した。口腔習癖の既往はないという。オーバーバイト、オーバージェットは正常範囲内で、後継永久歯の排列余地は左側 +2 mm、右側 +1 mm である。初診時の口腔内写真(別冊No. 7)を別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a $\overline{C|C}$ のトリミング
- b $\overline{C|C}$ の抜歯
- c 歯列弓の側方拡大
- d $\overline{2|2}$ の唇側移動
- e $\overline{6|6}$ の遠心移動



23 8歳の男児。下顎左側前歯の動揺を主訴として来院した。 $\overline{I}$ の動揺度は2度で、唇面中央部のプローピングデプスは3 mmである。打診と温度診とに異常はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 8)を別に示す。

適切な対応はどれか。

- a ブラッシング指導
- b 習癖除去装置の装着
- c $\underline{I}$ の唇側移動
- d $\overline{I}$ の圧下
- e ルートプレーニング



24 8歳の男児。前歯の形態異常を主訴として来院した。兄にも同様の所見がみられるという。初診時の顔面写真(別冊No. 9A)と口腔内写真(別冊No. 9B、C)とを別に示す。

疑われる疾患はどれか。

- a 鰓弓症候群
- b 鎖骨頭蓋異骨症
- c 下顎顔面異骨症
- d 無汗型外胚葉性異形成症
- e 先天性表皮水疱症



25 8歳の男児。学校歯科健診で歯の異常を指摘され来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 10A)とエックス線写真(別冊No. 10B)とを別に示す。

適切な対応はどれか。

- a 保隙装置を装着後、経過観察
- b 第二乳臼歯を抜去後、保隙装置を装着
- c 第一乳臼歯を近心移動後、保隙装置を装着
- d 第二乳臼歯を牽引後、経過観察
- e 第一大臼歯を遠心移動後、第二乳臼歯を抜去



26 骨内期の急性根尖性歯周炎で正しいのはどれか。

- a 著明な打診痛を呈する。
- b 冷刺激に強く反応する。
- c 患歯を明示しにくい。
- d 根尖部に明瞭なエックス線透過像を認める。
- e 膿瘍は切開して排膿させる。

27 歯内-歯周疾患の診査項目で重要なのはどれか。

- (1) 咬合痛
- (2) 歯髄の生死
- (3) 歯周ポケット
- (4) 根尖部透過像
- (5) 歯肉の腫脹

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| a (1)、(2)、(3) | b (1)、(2)、(5) | c (1)、(4)、(5) |
| d (2)、(3)、(4) | e (3)、(4)、(5) | |

28 アペキシフィケーションで正しいのはどれか。

- (1) 根未完成歯に行う。
- (2) パラホルムアルデヒド糊剤を用いる。
- (3) 根尖歯周組織に薬剤を溢出させる。
- (4) 根尖部が骨で閉鎖される。
- (5) 根尖閉鎖後に根管充填を行う。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

29 歯根尖切除法の適応はどれか。

- (1) 著しい動揺
- (2) 垂直性根破折
- (3) 根管充填剤の過剰溢出
- (4) 根尖部近くのリーマー破折片
- (5) 根尖病巣と歯周ポケットとの交通

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

30 変色歯の原因となるのはどれか。

- (1) アルコール系含嗽剤での洗口
- (2) フッ化ナトリウムの歯面塗布
- (3) テトラサイクリンの長期服用
- (4) 打撲による歯髄出血
- (5) ホルマリンクレゾールの根管内貼薬

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

31 妊娠性歯肉炎の適切な処置はどれか。

- (1) 口腔清掃指導
- (2) ルートプレーニング
- (3) 歯周ポケット搔爬術
- (4) 抗菌薬の投与
- (5) スケーリング

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

32 天然歯の咬合調整の基本はどれか。

- (1) 咬頭嵌合位で多数歯に同時接触させる。
- (2) 側方力の発生を抑える。
- (3) 咬頭嵌合位で咬頭を削合する。
- (4) 面接触となるように削合する。
- (5) 前方運動では下顎前歯切縁を削合する。

a (1)、(2)

bⁱ (1)、(5)

c (2)、(3)

d (3)、(4)

e (4)、(5)

33 歯髄疾患の診査・診断で正しいのはどれか。

- (1) 電気診の反応閾値で歯髄炎の広がりを判定する。
- (2) 壊死歯髄は透照診でピンク色に見える。
- (3) 露髄の電気抵抗値は $200\text{ k}\Omega$ (周波数 50 Hz) 以下である。
- (4) 麻酔診は関連痛の原因歯の診断に有効である。
- (5) 待機的診断は歯髄の保存の判定に有効である。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

34 正しい組合せはどれか。

- a 抵抗形態 — リバースカーブ
- b 便宜形態 — 鳩尾形
- c 保持形態 — 起始点
- d 窩縁形態 — フレアーカーブ
- e 把持形態 — 開放角 60 度

35 歯間分離法で正しいのはどれか。

- (1) 前歯にウェッジ型のセパレーターを用いる。
- (2) 填塞や研磨の操作性が向上する。
- (3) 隔壁用バンドの装着が容易になる。
- (4) 隣接面齲蝕の診査が容易になる。
- (5) 前歯では緩徐分離法を行うことが多い。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

36 修復材料の性状で二次齲蝕の発生に関与しないのはどれか。

- a 熱伝導性
- b 抗菌性
- c 熱膨張係数
- d 縁端強度
- e 吸水性

37 ラバーダム防湿法で誤っているのはどれか。

- a 患歯の呼気からの隔離
- b 術野の明示
- c 歯軸方向の明瞭化
- d 誤嚥事故の防止
- e 頬粘膜の保護

38 正しい組合せはどれか。

- (1) 芽胞を形成する細菌 ————— 煮沸消毒
- (2) HBV ————— クロールヘキシジン
- (3) HIV ————— グルタルアルデヒド
- (4) 手指の消毒 ————— ポビドンヨード
- (5) 金属器具の消毒 ————— 次亜塩素酸ナトリウム

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

39 Er:YAG レーザーの歯科的用途はどれか。

- (1) 血流の測定
- (2) ろう付け
- (3) 嚢胞摘出
- (4) 窩洞形成
- (5) 歯石除去

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

40 コンポジットレジンの積層充填法について正しいのはどれか。

- a アルコール綿球での未重合層除去
- b リン酸エッチング
- c フッ化水素酸処理
- d ボンディングレジン塗布
- e 前処理不要

41 齲蝕検知液で正しいのはどれか。

- (1) 10 秒間染色し、水洗後に判定する。
- (2) 齲蝕象牙質第二層の透明層は赤染する。
- (3) エナメル質齲蝕の診断に有効である。
- (4) 不染部でも黒褐色の着色層は除去する。
- (5) 淡いピンク色に染色した層は除去しない。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

42 歯の漂白法で誤っているのはどれか。

- a ウォーキングブリーチは有髄歯に適用できる。
- b オフィスブリーチは有髄歯に適用できる。
- c オフィスブリーチではラバーダム防湿を行う。
- d オフィスブリーチでは加熱を行う。
- e ホームブリーチは歯科医師の指導の下に行う。

43 II級コンポジットレジン修復で正しいのはどれか。

- (1) ラバーダムは装着しない。
- (2) 隔壁は辺縁隆線より高くする。
- (3) メタルマトリックスが使用できる。
- (4) 隣接面は研磨しない。
- (5) 咬合調整は次回来院時に行う。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

44 歯周疾患の環境関連リスクファクターはどれか。

- a 歯周疾患関連細菌
- b 糖尿病
- c 高血圧症
- d 喫 煙
- e 外傷性因子

- 45 歯周治療におけるフラップ手術の切開で正しいのはどれか。
- a ポケット底への外斜切開
 - b ポケット底への内斜切開
 - c 歯根膜への外斜切開
 - d 骨頂部への横切開
 - e 骨頂部への内斜切開

46 GTR 法で正しいのはどれか。

- (1) 結合組織性付着の獲得
- (2) 仮性ポケットの除去
- (3) 口腔前庭の拡張
- (4) 術野への骨細胞の侵入遮断
- (5) 術野への上皮細胞の侵入遮断

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

47 歯周ポケット内への局所薬物配送システム(LDDS)の利点はどれか。

(1) 薬剤の減量

(2) プラーク増加因子の除去

(3) 歯周ポケットの無菌化

(4) 副作用の軽減

(5) 薬効の長期持続

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

48 ルートプレーニングの目的はどれか。

- (1) 象牙細管の閉鎖
- (2) 歯肉と歯根面の付着
- (3) セメント質内内毒素の除去
- (4) 歯肉の搔爬
- (5) 歯槽骨の整形

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

49 新付着術の目的で正しいのはどれか。

- a 歯周組織の再生
- b 歯肉の形態修正
- c 上皮性付着の獲得
- d 付着歯肉の獲得
- e 口腔前庭の拡張

50 2 根管の発現頻度が著しく高いのはどれか。

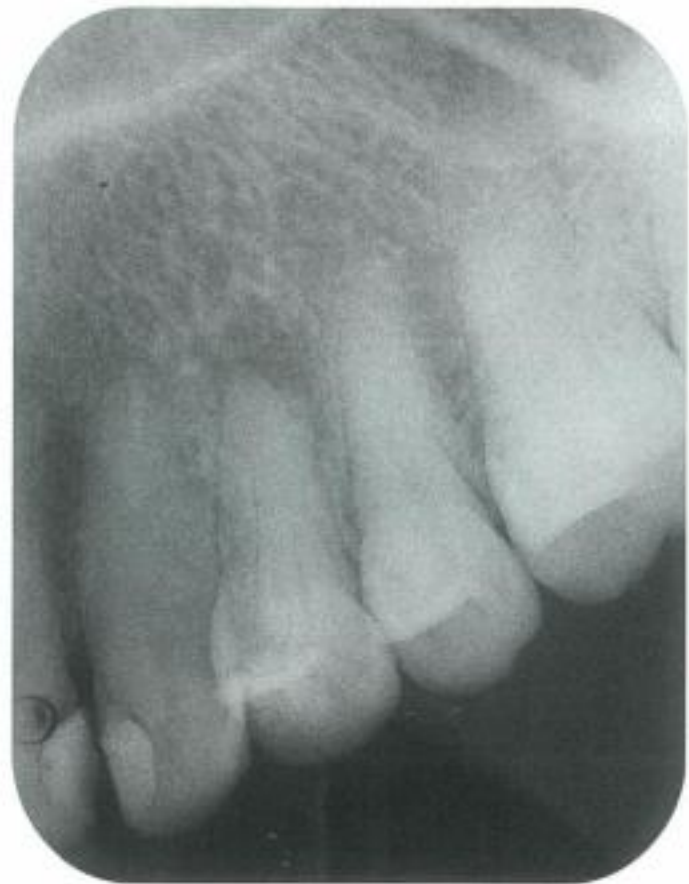
- (1) 上顎第一小臼歯根
- (2) 上顎第二小臼歯根
- (3) 下顎第二小臼歯根
- (4) 上顎第一大臼歯遠心頬側根
- (5) 下顎第一大臼歯近心根

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

51 62歳の女性。上顎左側第一小臼歯の鈍痛を主訴として来院した。10日前から症状があるという。4は電気診に反応がなく、異常な動揺は認められない。初診時の口腔内写真(別冊No. 11A)とエックス線写真(別冊No. 11B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 抜髄法
- b 感染根管治療
- c 根尖搔爬法
- d 歯根切除法
- e 逆根管充填法



52 53歳の男性。下顎左側第二大臼歯の動揺を主訴として来院した。半年前に気付いたが放置していたという。[7]の動揺度は3度で、歯周ポケットの深さは10～12 mmである。初診時の口腔内写真(別冊No. 12A)とエックス線写真(別冊No. 12B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 感染根管治療
- b フラップ手術
- c 根尖搔爬法
- d 歯の再植法
- e 抜歯



53 46歳の男性。下顎右側第二大臼歯の一過性の冷水痛を主訴として来院した。6か月前に気付いたが放置していたところ、次第に症状が強くなってきたという。齲齧の電気抵抗値は60 k Ω である。初診時のエックス線写真(別冊No. 13A)と充填物除去後の口腔内写真(別冊No. 13B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

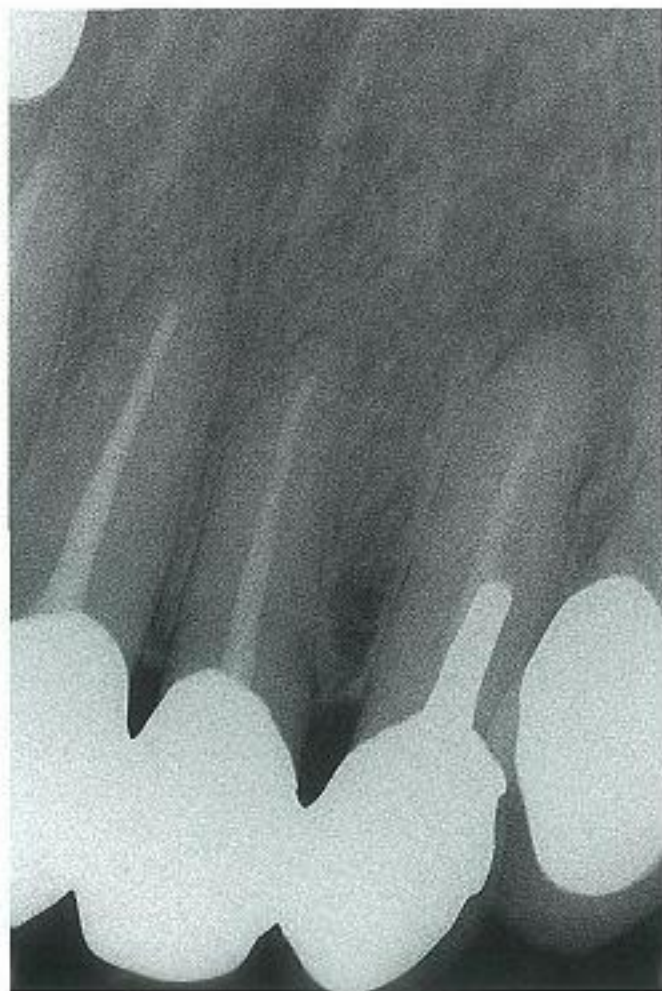
- a 間接覆髄法
- b 直接覆髄法
- c 生活断髄法
- d 麻酔抜髄法
- e 失活抜髄法



54 62歳の女性。上顎左側犬歯部の違和感を主訴として来院した。2週前に症状に気付いたという。補綴物の再製は希望していない。初診時の口腔内写真(別冊No. 14A)とエックス線写真(別冊No. 14B)とを別に示す。

適切な対応はどれか。

- a 経過観察
- b 感染根管治療
- c 外科的排膿路の確保
- d 逆根管充填法
- e 歯根切除法



55 27歳の女性。上顎右側中切歯の変色を主訴として来院した。7年前に同部を打撲したという。Ⅰは動揺度がⅠ度で、電気診に反応しない。初診時の口腔内写真(別冊No. 15A)とエックス線写真(別冊No. 15B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a 漂白法
- b 感染根管治療
- c アペキソゲネーシス
- d アペキシフィケーション
- e 嚢胞摘出術



56 65歳の女性。下顎右側第一大臼歯の修復物の破折を主訴として来院した。61は5年前にコンポジットレジン修復処置を受けたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 16A)、エックス線写真(別冊No. 16B)および軟化象牙質除去後の口腔内写真(別冊No. 16C)を別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 直接覆髄法
- b 失活抜髄法
- c 生活断髄法
- d 感染根管治療
- e 抜 歯



57 60歳の女性。上顎右側第二小白歯の違和感を主訴として来院した。18年前に⑦⑥⑤④のブリッジを装着し、4か月前から⑤の異常を感じるようになったという。初診時の口腔内写真(別冊No. 17A)、エックス線写真(別冊No. 17B)および修復物除去後のエックス線写真(別冊No. 17C)を別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 感染根管治療
- b 歯根尖切除法
- c 歯の挺出法
- d 歯の再植法
- e 歯肉骨内インプラント



58 42歳の男性。上顎右側中切歯の変色を主訴として来院した。20年前に1|の治療を受けたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 18A)とエックス線写真(別冊No. 18B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a ウォーキングブリーチ法
- b グラスアイオノマーセメント修復
- c 感染根管治療
- d 歯面研磨
- e イオン導入法



59 68歳の男性。上顎右側犬歯修復後の変色を主訴として来院した。2年前にコンポジットレジン修復処置を受けたという。3は電気診に反応し、歯周ポケットの深さは2 mm以内である。初診時の口腔内写真(別冊No. 19)を別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 再研磨
- b 漂白法
- c イオン導入法
- d コンポジットレジン修復
- e ラミネートベニア修復



60 50歳の男性。下顎左側第二小白歯の自発痛を主訴として来院した。3日前から軽度の咬合痛を覚えるも放置していたが、その後咬合痛が増してきたという。[5]には強い打診痛があり、電気診に反応しない。根尖相当部に波動は触れない。初診時のエックス線写真(別冊No. 20)を別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 直接覆髄法
- b 抜髄法
- c 感染根管治療
- d 膿瘍切開
- e 抜 歯



61 56歳の男性。下顎左側第一大臼歯の咬合痛を主訴として来院した。歯周基本治療後の再評価で6分岐部はポケット探針が通過する。近心根近心面の歯周ポケットの深さは9 mmである。歯周基本治療後の口腔内写真(別冊No. 21A)とエックス線写真(別冊No. 21B)とを別に示す。

次に行うべき処置はどれか。

- a ファルカプラスティ
- b GTR 法
- c 歯肉歯槽粘膜形成術
- d ENAP
- e ヘミセクション



62 59歳の男性。下顎左側第一大臼歯の咬合痛と歯肉からの出血とを主訴として来院した。1年前から症状があったが放置していたという。[6分岐部のアタッチメントロスは4mmで、分岐部用プローブが頬側から水平的に3mm入る。初診時の口腔内写真(別冊No. 22A)とエックス線写真(別冊No. 22B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 暫間固定
- b ルートセパレーション
- c ファルカプラスティ
- d トンネル形成術
- e ヘミセクション



63 51歳の女性。上顎左側第一大臼歯の違和感を主訴として来院した。6の歯周ポケットの深さは、口蓋側で4 mm、頬側では近心から5、8、11 mmである。動揺度は2度で、電気診に反応する。初診時の口腔内写真(別冊No. 23A)とエックス線写真(別冊No. 23B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

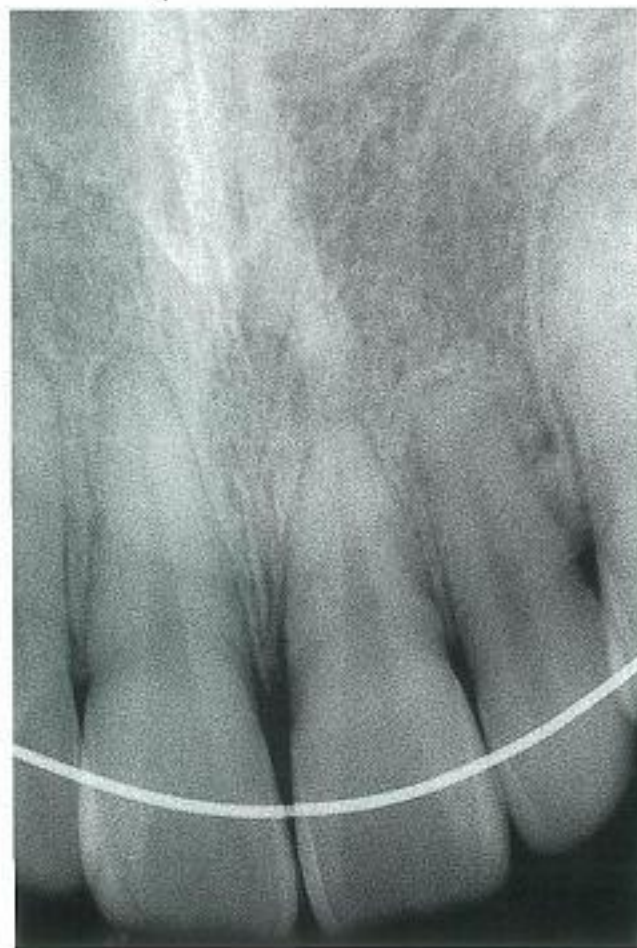
- a 感染根管治療
- b 歯根尖切除法
- c ENAP
- d トライセクション
- e トンネル形成術



64 24歳の女性。上顎中切歯部歯肉の異常を主訴として来院した。3年前から矯正歯科治療を受けており、半年前からブラッシング時の出血があるという。[1]唇側近心に4mmのアタッチメントロスがある。初診時の口腔内写真(別冊No. 24A)とエックス線写真(別冊No. 24B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 歯肉整形術
- b 遊離歯肉移植術
- c 口腔前庭拡張術
- d 歯肉切除術
- e 小帯切除術



65 55歳の女性。上下顎前歯部歯肉の腫脹を主訴として来院した。歯科治療は10年以上受けていないという。初診時の口腔内写真(別冊No. 25A、B、C)を別に示す。

プラーク増加因子となっているのはどれか。2つ選べ。

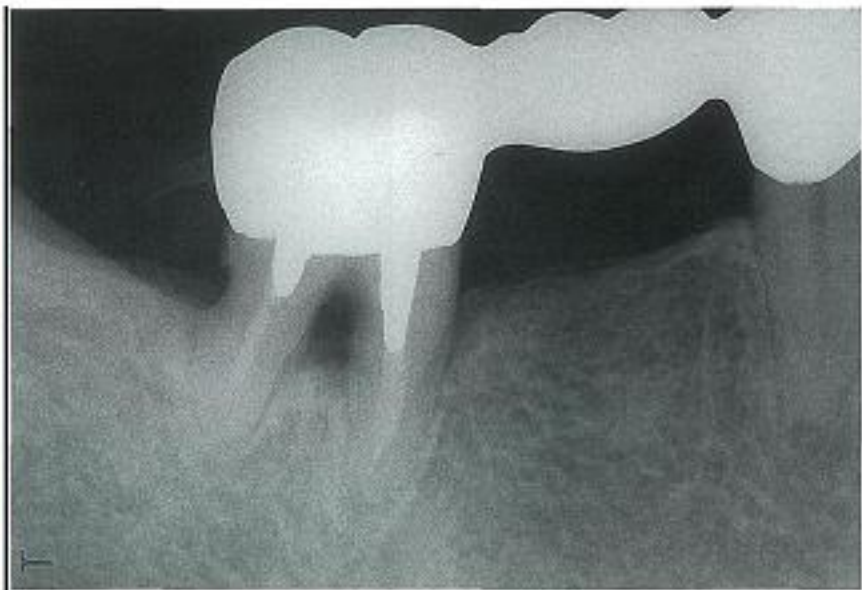
- a 叢生
- b 歯石
- c 歯間離開
- d 小帯
- e 補綴装置



66 56歳の男性。下顎右側第二大臼歯部歯肉の腫脹と疼痛とを主訴として来院した。7には2か月前から違和感があり、咬合痛が著しいという。歯周ポケットの深さは、頬側近心6 mm、中央10 mm、遠心5 mmである。初診時の口腔内写真(別冊No. 26A)とエックス線写真(別冊No. 26B)とを別に示す。

歯周基本治療後に行うべき処置はどれか。2つ選べ。

- a 感染根管治療
- b フラップ手術
- c 根尖搔爬法
- d ルートセパレーション
- e ヘミセクション



67 25歳の女性。上下顎前歯部歯肉の不快感を主訴として来院した。 $\frac{1}{1} \frac{1}{1}$ には、数年前から排膿が認められ、最近動揺が著しくなったという。歯周ポケットの深さは5～8mmである。初診時の口腔内写真(別冊No. 27A)とエックス線写真(別冊No. 27B、C)とを別に示す。

歯周基本治療後に行うべき処置はどれか。

- a 歯肉切除術
- b 新付着術
- c 歯周ポケット搔爬術
- d フラップ手術
- e 歯肉弁移動術



68 50歳の女性。上顎左側第二大臼歯の疼痛を主訴として来院した。3日前の夕食時に咬合痛を覚え、昨日から自発痛も発現したという。[7]は冷温刺激に強く反応する。歯周ポケットの深さは、頬側近心5mm、中央3mm、遠心7mmである。初診時の口腔内写真(別冊No. 28A)とエックス線写真(別冊No. 28B)とを別に示す。

疼痛の原因はどれか。

- a 齧 蝕
- b 知覚過敏症
- c 歯周膿瘍
- d 咬耗症
- e 歯の破折



69 47歳の女性。下顎左側臼歯部を10年前に治療し、リコールに応じて来院した。

10年前のエックス線写真(別冊No. 29A)と現在のエックス線写真(別冊No. 29B)とを別に示す。

術後所見で正しいのはどれか。

- (1) 歯槽硬線の明瞭化
- (2) 歯槽骨の緻密化
- (3) 歯根膜腔の拡大
- (4) 抜歯窩の治療
- (5) 根尖透過像の消失

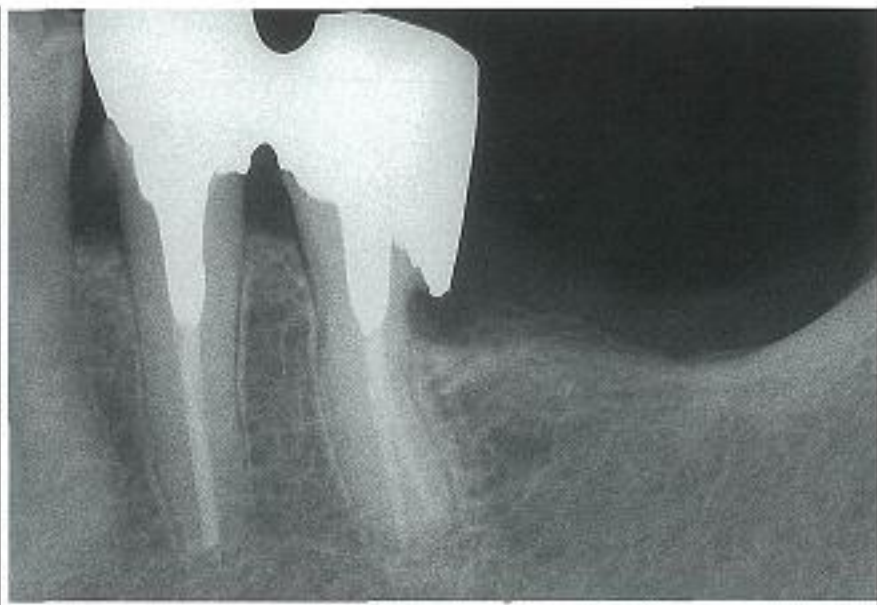
a (1), (2), (3)

b (1), (2), (5)

c (1), (4), (5)

d (2), (3), (4)

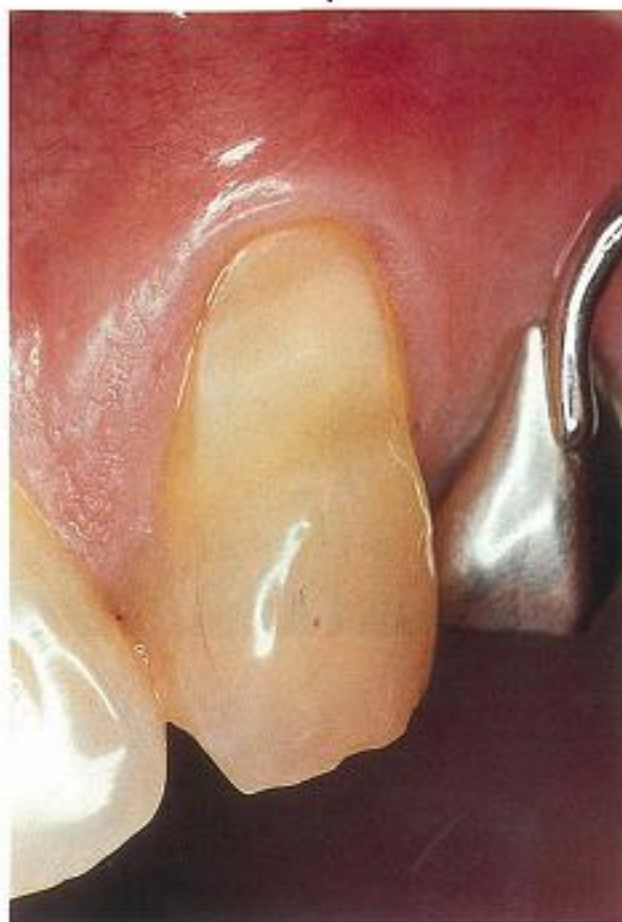
e (3), (4), (5)



70 54歳の男性。上顎左側犬歯のブラッシング時の疼痛を主訴として来院した。冷水にも時々反応するという。|3の歯頸部に擦過痛が認められるが、その他の異常は認められない。初診時の口腔内写真(別冊No. 30)を別に示す。

適切な処置はどれか。2つ選べ。

- a イオン導入
- b フッ化ジアンミン銀塗布
- c コンポジットレジン修復
- d アマルガム修復
- e メタルインレー修復



71 47歳の女性。上顎左側第二小臼歯の修復物の脱落を主訴として来院した。メタルインレー修復を行うことにした。インレー試適時の口腔内写真(別冊No. 31)を別に示す。

次に点検すべき項目はどれか。

- (1) 隣接接触点の検査
- (2) 対合歯との咬合状態
- (3) 窩縁エナメル質の破折
- (4) 仮封材の取り残し
- (5) インレー体内面の小突起

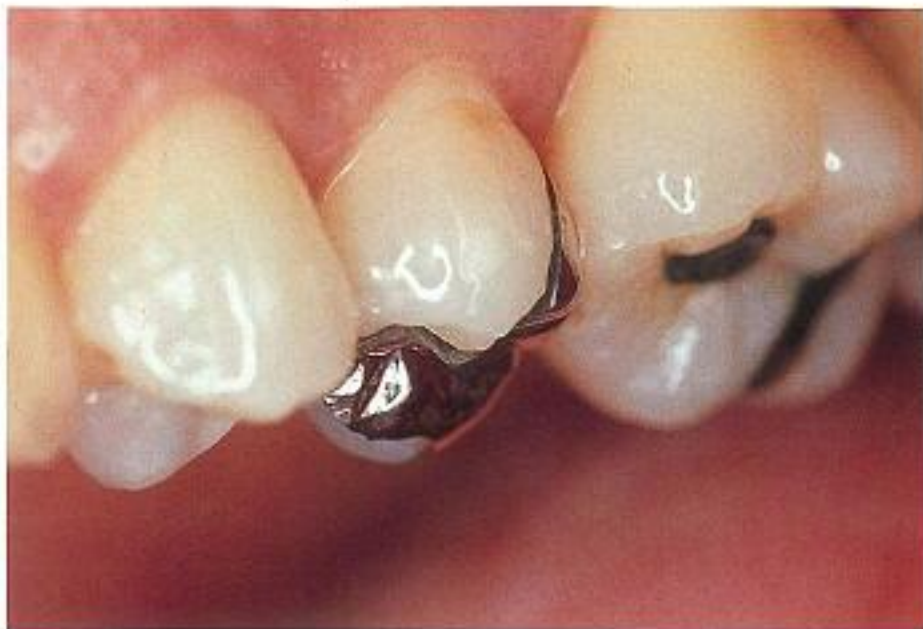
a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)



72 52歳の女性。上顎左側側切歯の変色を主訴として来院した。20年前に歯髄処置を受け、その後変色が徐々に強くなってきたという。[2]に打診痛、根尖部圧痛はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 32A)とエックス線写真(別冊No. 32B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a 漂白法
- b コンポジットレジン修復
- c 感染根管治療
- d 抜髄法
- e PMTC



73 13歳の男子。上顎左側中切歯の破折を主訴として来院した。2日前に転倒し、打撲したという。破折面に露髄は観察されず、冷水痛はあるが、自発痛はない。動揺度は1度で、打診痛はなく、電気診に反応する。初診時の口腔内写真(別冊No. 33)を別に示す。

適切な処置はどれか。

- a セラミックインレー修復
- b 陶材焼付鑄造冠修復
- c グラスアイオノマーセメント修復
- d コンポジットレジン修復
- e ラミネートベニア修復



74 27歳の女性。上下顎前歯の変色を主訴として来院した。萌出時から変色していたという。患歯はすべて電気診に反応する。初診時の口腔内写真(別冊No. 34)を別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a ウォーキングブリーチ法
- b パイタルブリーチ法
- c ラミネートベニア修復
- d 硬質レジンジャケット冠修復
- e 前装铸造冠修復



75 26歳の女性。上顎左側中切歯および側切歯の接触痛を主訴として来院した。4日前に転倒、強打し、応急処置を受けたという。自発痛があり、1 2の歯冠は著しく動揺し、それに伴って激しい疼痛を生じる。初診時のエックス線写真(別冊No. 35)を別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 直接覆髄法
- b 生活断髄法
- c 抜髄法
- d アペキシフィケーション
- e 抜 歯



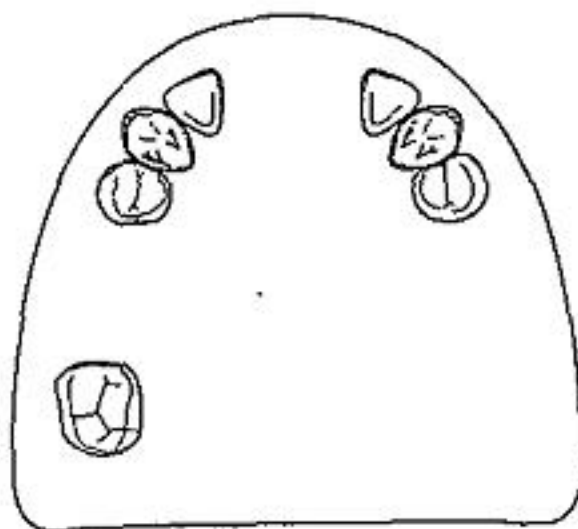
1 無歯顎顎堤の経時変化で正しいのはどれか。

- a 上顎大白歯部では顎堤弓が拡大する。
- b 下顎大白歯部では顎堤弓が縮小する。
- c 顎堤の高さが増加する。
- d 前歯部では下顎に対し上顎が後方に位置する。
- e 臼歯部では下顎に対し上顎が外方に位置する。

2 歯の喪失に伴う口腔内の変化で誤っているのはどれか。

- a 隣在歯の傾斜
- b 対合歯の沈下
- c 咬合干渉の発生
- d 食片圧入の発生
- e 動揺度の増大

3 上顎の歯列模型を図に示す。



部分床義歯の設計で正しい組合せはどれか。

- a Kennedy I 級 2 類 ——— 粘膜支持
- b Kennedy I 級 2 類 ——— 歯根膜粘膜支持
- c Kennedy II 級 2 類 ——— 歯根膜支持
- d Kennedy II 級 2 類 ——— 粘膜支持
- e Kennedy II 級 2 類 ——— 歯根膜粘膜支持

4 上顎両側遊離端義歯の異物感と発音とに関して考慮すべき事項はどれか。

- a 人工歯の材質
- b 大連結子の形態
- c 咬合様式
- d 前歯の排列位置
- e 中心咬合位

- 5 鉤尖と鉤体とをファーゾーンに置き、鉤腕が齒冠を取り巻くのはどれか。
- a エーカース鉤
 - b ヘアピン鉤
 - c リング鉤
 - d バックアクション鉤
 - e 双子鉤

6、咬合力の支持様式で正しい組合せはどれか。

- a 下顎隆起 ————— 粘膜支持
- b 頬 棚 ————— 粘膜支持
- c 咬合面レスト ————— 粘膜支持
- d クラスポ先端 ————— 歯根膜支持
- e 隣接面板 ————— 歯根膜支持

7 構音障害に適用するのはどれか。

- (1) パラタルリフト
- (2) 栓塞子
- (3) 滑面板
- (4) パラタルプレート
- (5) スピーチエイド

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

8 1か月前に装着した上顎全部床義歯の右側側切歯が破折した。

考えられる原因はどれか。

- a 咬合調整の不良
- b 義歯床の強度不足
- c 重合操作の不良
- d 粘膜面の不適合
- e 咬合採得の不良

9 大臼歯のクラウンを仮着した翌日に食片圧入の訴えがあった。

考えられる原因はどれか。

(1) 辺縁隆線の不揃い

(2) 隣接接触点の強さの不足

(3) 緩い咬頭傾斜

(4) 咬合面頬舌径の過大

(5) 広い上部鼓形空隙

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

10 クラウン・ブリッジの自浄性に関与しないのはどれか。

- a 唾液の分泌量
- b 頬と舌との動き
- c 鼓形空隙の形態
- d 支台装置の材質
- e 咬合面接触点の数

11 下顎の側方滑走運動で正しいのはどれか。

- (1) 咬合接触状態での運動
- (2) 下顎切歯点の偏位側は非作業側
- (3) 作業側下顎頭は大きく外側移動
- (4) 非作業側下顎頭は前下内方へ移動
- (5) 犬歯誘導咬合では臼歯は離開

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

12 ブリッジの設計で考慮する因子はどれか。

- (1) 支台歯の数
- (2) 支台歯の歯軸傾斜
- (3) ポンティックの近遠心幅径
- (4) 閉口時の咬合接触点数
- (5) ポンティックの基底面形態

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

13 ブリッジ支台歯の負担軽減策で誤っているのはどれか。

- a 咬合面に遁路を付与する。
- b 咬合面の頬舌径を大きくする。
- c 咬頭傾斜を緩くする。
- d 対合歯との接触面積を少なくする。
- e 支台歯数を増加する。

14 クラウン製作に際して誤っているのはどれか。

- a 歯髄の保護
- b 辺縁適合性
- c 広い隣接接触点
- d 辺縁歯肉の保護
- e 咀嚼機能の回復

15 健康歯髓の上顎犬歯の補綴に適するのはどれか。

- a 全部鑄造冠
- b 4/5 クラウン
- c 歯冠継続歯
- d 前装鑄造冠
- e プロキシマルハーフクラウン

16 半自浄性ポンティックはどれか。

- (1) 離底型
- (2) 船底型
- (3) リッジラップ型
- (4) 鞍状型
- (5) 有床型

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

17 クラウン試適時に確認するのはどれか。

- (1) 咬合関係
- (2) 辺縁適合性
- (3) 隣接接触点
- (4) 咀嚼能力
- (5) 自浄性

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

18 残存歯が咬合しない(すれ違い咬合)患者の模型診査から得られる残存歯の情報はどれか。

- (1) 植立方向
- (2) 対向関係
- (3) 偏心咬合関係
- (4) 歯冠形態
- (5) 咬 耗

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

19 離脱しやすい上顎全部床義歯で、まず診査するのはどれか。

- (1) 床の適合性
- (2) 床縁封鎖性
- (3) 咬合接触
- (4) 咬合高径
- (5) 咬合平面

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

20 高速切削の利点はどれか。

- (1) 切削圧が小さい。
- (2) 切削時間が短い。
- (3) フリーハンドでよい。
- (4) 切削時の発熱が少ない。
- (5) 振動が少ない。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

21 唾液分泌量の減少によって低下するのはどれか。

(1) 義歯の維持力

(2) 咀嚼能率

(3) 咬合力

(4) 齲蝕活動性

(5) 味 覚

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

22 即時義歯で正しいのはどれか。

- a 義歯床の適合が良好である。
- b 装着後の調整が少ない。
- c 顎堤の吸収を抑制する。
- d 主として臼歯部に適応する。
- e 抜歯前の咬合高径が保たれる。

23 サベイングで正しい組合せはどれか。

- a アンダーカットゲージ — クラスプの先端
- b テーパーツール — 顎堤のアンダーカット量
- c 炭素棒先端 — サベイラインの記入
- d 等高点 — 咬合平面の診断
- e サベイライン — 唇側床縁の位置

24 上顎骨亜全摘を受けた患者に顎義歯を装着した。

改善されるのはどれか。

- (1) 口腔乾燥
- (2) 舌運動障害
- (3) 開口障害
- (4) 発音障害
- (5) 顔 貌

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

25 全部床義歯の維持に参与するのはどれか。

- (1) 顎二腹筋
- (2) 顎舌骨筋
- (3) 頬筋
- (4) 口輪筋
- (5) オトガイ舌骨筋

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

26 54歳の女性。上下顎欠損部の補綴処置を希望して来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 1A、B、C)を別に示す。

義歯製作の咬合高径決定で考慮するのはどれか。2つ選べ。

- a 舌背の高さ
- b 残存歯の咬合面の高さ
- c 顎堤の形態
- d レトロモラーパッドの高さ
- e 下顎安静位



27 65歳の女性。下顎欠損部の補綴処置を希望して来院した。サベイングを行った模型の写真(別冊No. 2A、B)を別に示す。

大白歯に適用するのはどれか。

- a エーカースクラスプ
- b バックアクションクラスプ
- c リバースバックアクションクラスプ
- d リングクラスプ
- e ハーフアンドハーフクラスプ



頬側面

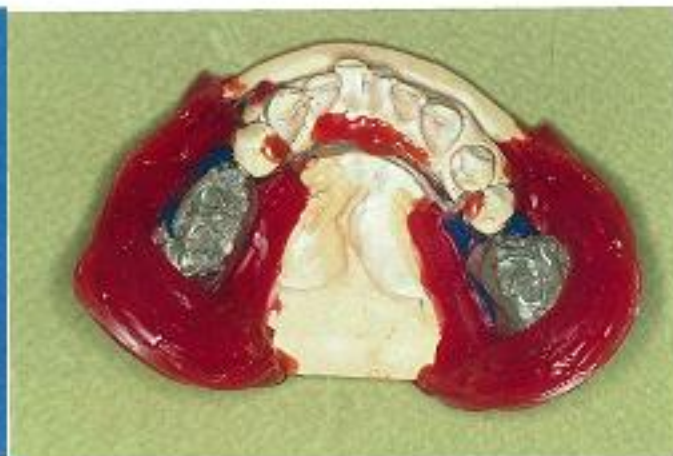


舌側面

28 58歳の男性。下顎義歯の不安定と義歯床下粘膜痛とを主訴として来院した。部分床義歯の製作過程の写真(別冊No. 3A、B、C、D)を別に示す。

製作する作業模型はどれか。

- a 複製義歯製作用の模型
- b メタルフレーム製作用の模型
- c 欠損部のリベース用の模型
- d 欠損部を機能印象した模型
- e 欠損部を無圧印象した模型



29 75歳の女性。咀嚼障害のため義歯再製作を希望して来院した。新義歯の写真(別冊No. 4A、B、C)を別に示す。

用いた臼歯人工歯の特徴はどれか。

- a 解剖学的人工歯である。
- b 両側性平衡咬合に適している。
- c 咬合高径の修正が容易である。
- d 咬断能力が高い。
- e 審美性が優れている。



30 24歳の女性。咀嚼時の右側咬筋部の疼痛を主訴として来院した。スプリント装着時の口腔内写真(別冊No. 5A)とスプリントの写真(別冊No. 5B)とを別に示す。

犬歯誘導にするため削合すべき部位はどれか。

- a 左側犬歯部の青マーク
- b 右側犬歯部の青マーク
- c 右側大白歯部の赤マーク
- d 左側大白歯部の青マーク
- e 前歯部の赤マーク

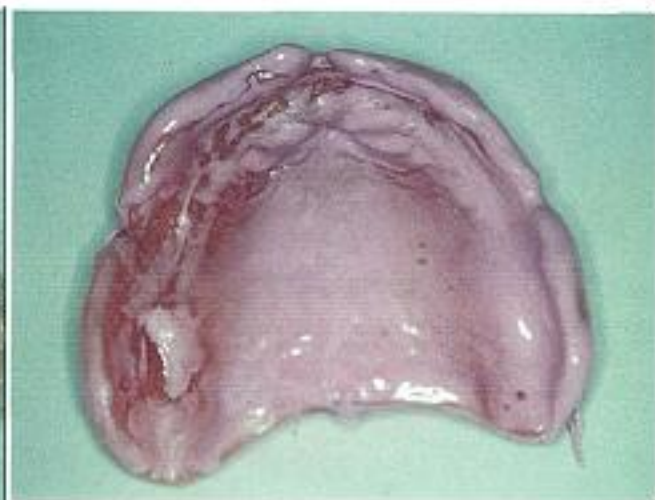
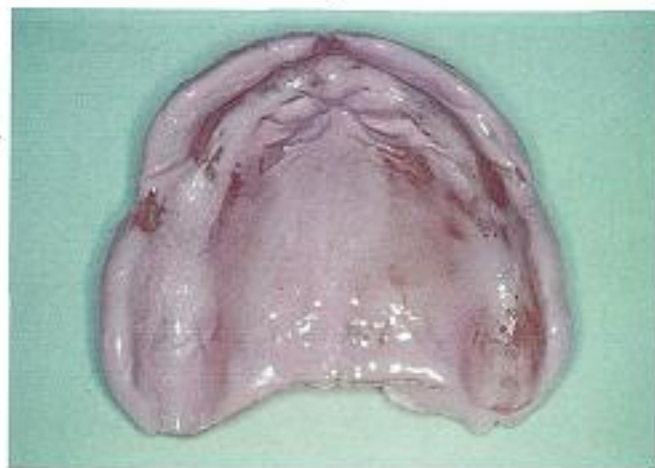


赤マーク：開閉口運動時の咬合接触
青マーク：側方滑走運動時の咬合接触

31 70歳の女性。咀嚼時の疼痛を主訴として来院した。1週前に上下顎全部床義歯を装着した。手圧による義歯適合試験の写真(別冊No. 6A)、中心咬合位における咬合接触状態の写真(別冊No. 6B)および咬合時の義歯適合試験の写真(別冊No. 6C)を別に示す。

適切な対応はどれか。

- a 粘膜調整
- b 床裏装
- c 咬合調整
- d 咀嚼指導
- e 義歯再製作



32 53歳の男性。上顎前歯の欠損を主訴として来院した。部分床義歯を装着していたが違和感があり、ブリッジ装着を希望している。エックス線検査では残存歯に異常は認められない。初診時の口腔内写真(別冊No. 7A、B)を別に示す。

ブリッジの支台歯選択に必要な検査はどれか。2つ選べ。

- a 発音試験
- b 動揺度検査
- c 電気診
- d 咬合力測定
- e 偏心位での咬合接触



33 58歳の女性。1年前に装着した義歯の人工歯が脱落し来院した。他の部位には異常は認められない。来院時の義歯と人工歯との写真(別冊No. 8)を別に示す。

考えられる原因はどれか。2つ選べ。

- a 床用レジン填入タイミングの遅れ
- b 人工歯基底面の流ろう不足
- c 床用レジン填入時の加圧不足
- d 硬質レジン歯の使用
- e 強過ぎる咬合接触



34 66歳の女性。上顎全部床義歯の維持不良を主訴として来院した。スパーサー付与後の診断用模型の写真(別冊No. 9A)と筋圧形成後の写真(別冊No. 9B)とを別に示す。

採用するのはどれか。

- a ダイナミック印象
- b フレンジテクニック
- c 選択加圧印象
- d 連合印象
- e 無圧印象



35 28歳の女性。上顎臼歯の挺出を心配して来院した。咀嚼や発音などに障害は感じていないという。顎関節の機能も正常である。初診時の口腔内写真(別冊No. 10)を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 経過観察
- b 6 7に連結冠の装着
- c 下顎ブリッジの装着
- d 下顎部分床義歯の装着
- e 下顎インプラント治療の検査



36 35歳の女性。上顎前歯部歯肉の着色を主訴として来院した。3年前に前装冠を装着したという。検査の結果111は保存不可能と診断し、抜歯してテンボラリーブリッジを装着した。初診時の口腔内写真(別冊No. 11A)と装着後の口腔内写真(別冊No. 11B)とを別に示す。

着色の原因はどれか。

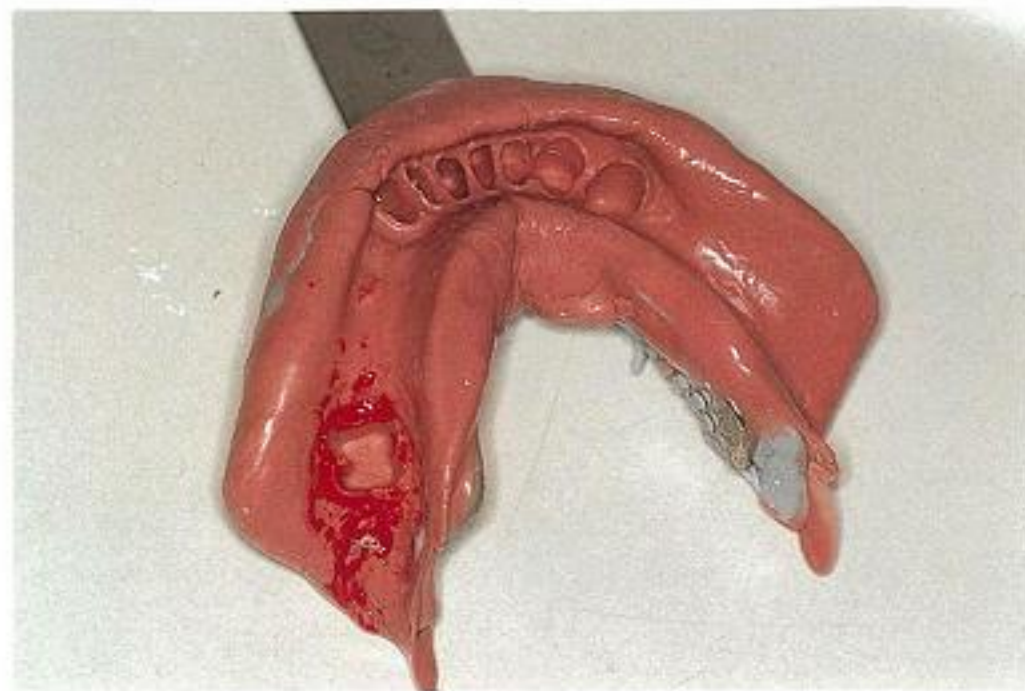
- a 歯肉縁下根面齧蝕の透過
- b 慢性辺縁性歯周炎
- c 陶材の溶出
- d 金属の溶出
- e 悪性黒色腫



37 40歳の女性。咀嚼障害を主訴として来院した。補綴装置製作のため印象採得を行った。採得直後の印象の写真(別冊No. 12)を別に示す。

石膏の注入前に行うのはどれか。2つ選べ。

- a スチームクリーナで洗浄
- b 流水で洗浄
- c 固定液へ浸漬
- d 石膏用分離剤の塗布
- e 薬液による消毒



38 32歳の女性。上顎左側中切歯の亀裂と変色とを主訴として来院した。10年前に根管治療を受けたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 13)を別に示す。

適切な治療法はどれか。2つ選べ。

- a 漂白法
- b グラスアイオノマーセメント充填
- c 歯冠継続歯の装着
- d 陶材焼付鑄造冠の装着
- e ラミネートベニアクラウンの装着



39 55歳の女性。咀嚼障害を主訴として来院した。残存歯に打診痛などの症状はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 14A、B、C)とエックス線写真(別冊No. 14D)とを別に示す。

「4」、「5」に適するのはどれか。2つ選べ。

- a ブリッジの支台装置
- b ポーセレンジャケット冠
- c 部分床義歯の支台装置
- d 歯冠継続歯
- e 抜 歯



40 58歳の男性。上顎全部床義歯の脱離と咀嚼障害とを主訴として来院した。10年前に装着したという。初診時の口腔内写真(別冊No. 15A)と義歯の写真(別冊No. 15B、C)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。2つ選べ。

- a 直接裏装
- b 小窩・裂溝付与
- c 咬合面の削合
- d 咬合面の築盛
- e 人工歯の交換



41 52歳の男性。接着ブリッジの一部脱離を主訴として来院した。8年前に装着したという。撤去したブリッジのポンティック咬合面には咬耗は認められない。初診時の口腔内写真(別冊No. 16A)、撤去後の口腔内写真(別冊No. 16B)および撤去したブリッジの写真(別冊No. 16C)を別に示す。

考えられる原因はどれか。2つ選べ。

- a 二次齲蝕
- b ポンティックの基底面形態
- c ポンティックの咬合関係
- d 支台装置の強度
- e セメントの接着耐久性



探針で一部脱離部を示す



撤去後

42 54歳の女性。ポストクラウンの脱落を主訴として来院した。20年前に装着したという。ポストクラウン舌面に咬耗は認められない。初診時の口腔内写真(別冊No. 17A、B)と脱落したポストクラウンの写真(別冊No. 17C)とを別に示す。

考えられる原因はどれか。

- (1) セメントの劣化
- (2) ポスト適合不良
- (3) 過蓋咬合
- (4) 歯根破折
- (5) ポスト短小

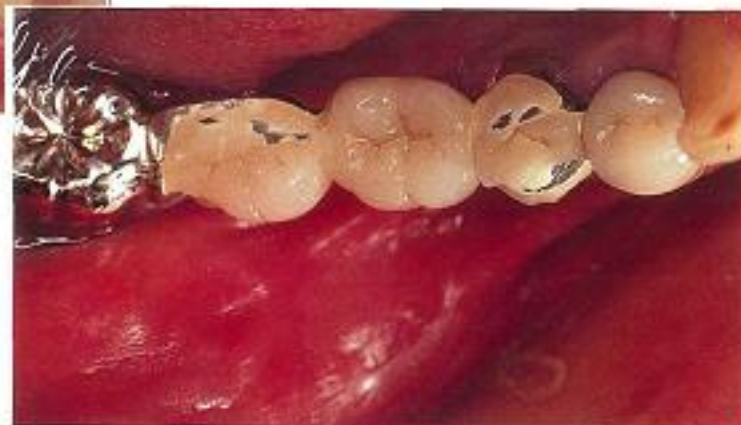
a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)



43 56歳の男性。4年前に装着したブリッジ咬合面のポーセレン破折を主訴として来院した。装着前のポンティック基底面の写真(別冊No. 18A)、装着当時の口腔内写真(別冊No. 18B、C)および来院時の口腔内写真(別冊No. 18D)を別に示す。

ポーセレン破折の原因で考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 支台歯数の不足
- b ブリッジのたわみ
- c ポーセレンの焼付不良
- d ポンティック基底面形態
- e ポンティック咬合面幅径



- 43 56歳の男性。4年前に装着したブリッジ咬合面のポーセレン破折を主訴として来院した。装着前のポンティック基底面の写真(別冊No. 18A)、装着当時の口腔内写真(別冊No. 18B、C)および来院時の口腔内写真(別冊No. 18D)を別に示す。

ポーセレン破折の原因で考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 支台歯数の不足
- b ブリッジのたわみ
- c ポーセレンの焼付不良
- d ポンティック基底面形態
- e ポンティック咬合面幅径



45 47歳の女性。右側臼歯部の咀嚼障害を主訴として来院した。4を歯冠修復後、部分床義歯を装着することとした。初診時の口腔内写真(別冊No. 20A、B)と咬合時の写真(別冊No. 20C)とを別に示す。

4に必要な歯冠形態はどれか。

- a 遠心辺縁隆線部にレストシート
- b 頬側面に十分なアンダーカット
- c 舌側面に十分なアンダーカット
- d 近心辺縁隆線部に咬合接触
- e 近遠心幅径の大きな咬合面



46 28歳の女性。上顎左側第二大臼歯に全部鑄造冠を製作し仮着したところ、左側頬粘膜に咬傷が生じ5日後に来院した。頬粘膜の写真(別冊No. 21A)、咬合時の写真(別冊No. 21B)および上顎左側大臼歯部の咬合面の写真(別冊No. 21C)を別に示す。

考えられる原因はどれか。

- a 頬側咬頭内斜面の急傾斜
- b 咬合接触の不良
- c 水平被覆の不足
- d 頬側軸面の過豊隆
- e 過大な咬合面頬舌幅



47 75歳の女性。上下顎全部床義歯の製作を希望して来院した。咬合採得時に下顎を滑走させると上下顎咬合床間に間隙が生じ、Christensen現象が観察された。咬合採得時の口腔内写真(別冊No. 22A)と滑走運動時の口腔内写真(別冊No. 22B)とを別に示す。

間隙が生じた原因はどれか。

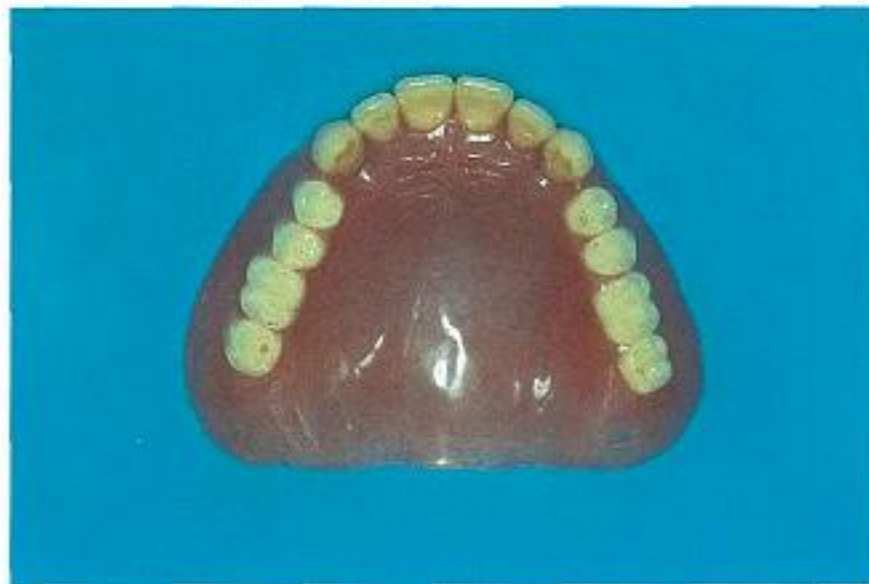
- a 前方滑走運動
- b 右側方滑走運動
- c 右側下顎頭の前下方移動
- d 両側下顎頭の前下方移動
- e 下顎咬合床の動揺



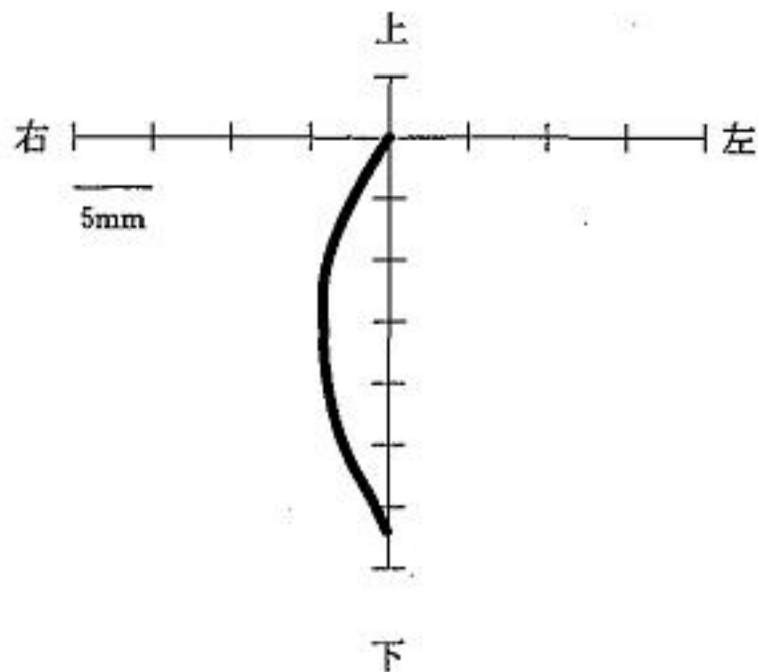
48 77歳の女性。義歯による嘔気を訴えて来院した。義歯は1週前に装着した。義歯の写真(別冊No. 23A、B)を別に示す。

まず行うべき検査はどれか。2つ選べ。

- a 義歯適合検査
- b 安静空隙の測定
- c 咬合接触検査
- d サ行発音試験
- e アーラインの検査



49 25歳の女性。開口障害を主訴として来院した。疼痛や顎関節雑音はみられない。開口時切歯点の前頭面投影経路を図に示す。



考えられる原因はどれか。2つ選べ。

- a 右側下顎頭の運動過大
- b 右側下顎頭の運動障害
- c 左側関節円板の偏位
- d 左側開口筋の障害
- e 右側閉口筋の障害

50 26歳の女性。開口障害と大開口時の左側耳前部痛とを主訴として来院した。1年前から左側顎関節雑音を、1週間から開口障害を自覚するようになったという。咀嚼筋に圧痛はなく、エックス線検査では顎関節の骨構造に異常を認めない。顎運動時の写真(別冊No. 24A、B、C)を別に示す。

適切な検査はどれか。

- a 咀嚼筋の筋電図検査
- b 咬合力検査 ;
- c 咬合音検査
- d MRI
- e 咬合接触試験



右側方運動時



開口時



左側方運動時

51 骨格性反対咬合の症状はどれか。

- (1) 上顎歯列弓の開大
- (2) 下顎歯列弓の狭窄
- (3) 上顎骨の後退
- (4) 下顎骨の前突
- (5) 上顎歯列弓の空隙

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

52 器械的矯正力を利用した矯正装置はどれか。

- (1) 咬合斜面板
- (2) 顎外固定装置
- (3) 歯列弓拡大装置
- (4) リップバンパー
- (5) アクチバトール

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

53 Angle II級2類不正咬合の診査で注意する事項はどれか。

- (1) 前歯部歯肉状態
- (2) 習慣性開閉口運動路
- (3) 母指吸引癖
- (4) 内分泌異常
- (5) 顎関節症状

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

54 正しい組合せはどれか。

(1) 上顎前突 ————— 母指吸引癖

(2) 下顎前突 ————— 咬唇癖

(3) 叢 生 ————— 舌突出癖

(4) 空隙歯列 ————— 睡眠態癖

(5) 開 咬 ————— 口呼吸

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

55 上顎前突を伴いやすい疾患はどれか。

- a 頭蓋顔面異骨症
- b 鎖骨頭蓋異骨症
- c 下顎顔面異骨症
- d 尖頭合指症
- e 軟骨形成不全症

56 縫合性成長を制御するのはどれか。

- (1) 上顎前方牽引装置
- (2) 舌側弧線装置
- (3) オトガイ帽装置
- (4) マルチブラケット装置
- (5) ヘッドギア

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

57 機能的不正咬合の検査はどれか。

- (1) 筋電図検査
- (2) 模型分析
- (3) Tweed 分析
- (4) Thompson(神山)分析
- (5) ファンクショナルワックスバイト法

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| a (1)、(2)、(3) | b (1)、(2)、(5) | c (1)、(4)、(5) |
| d (2)、(3)、(4) | e (3)、(4)、(5) | |

58 55歳の女性。上顎犬歯を約130gの持続的矯正力で遠心移動を行った。右側に比べ左側の犬歯はほとんど移動していない。

考えられる原因はどれか。

- (1) 歯髄壊死
- (2) アーチワイヤーのたわみ
- (3) 対合歯の咬合干渉
- (4) 歯の骨性癒着
- (5) 高年齢

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

59 10歳の男児。反対咬合で被蓋が浅く、ANB角がマイナス、上顎切歯が唇側傾斜および下顎切歯が舌側傾斜している。

適切な矯正装置はどれか。

- (1) オトガイ帽装置
- (2) 咬合斜面板
- (3) アクチパツール
- (4) ヘッドギア
- (5) 上顎前方牽引装置

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

60 開咬を伴う骨格性上顎前突のセファロ分析で基準値より小さいのはどれか。

- a ANB 角
- b 顔面角
- c Y 軸角
- d 下顎角
- e 下顎下縁平面角

61 正中口蓋縫合部の骨形成を促進させるのはどれか。

- a 舌側弧線装置
- b 上顎前方牽引装置
- c ヘッドギア
- d 急速拡大装置
- e 拡大床装置

62 適正な矯正力による歯の移動時の生体反応はどれか。

- (1) 骨リモデリングの賦活
- (2) 血管透過性の亢進
- (3) 歯根膜の消失
- (4) セメント質の吸収
- (5) 歯髄腔の拡大

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

63 下顎前突に対する外科的矯正治療で得られる効果はどれか。

- (1) 顔貌の改善
- (2) ANB 角の増加
- (3) 睡眠時無呼吸症の改善
- (4) 舌房の拡大
- (5) 咀嚼機能の改善

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

64 持続的な矯正力を発現するのはどれか。

- (1) 舌側弧線装置
- (2) ヘッドギア
- (3) アクチバトール
- (4) 咬合挙上板
- (5) マルチブラケット装置

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

65 咀嚼筋の機能と関連がある顔面頭蓋形態はどれか。

- (1) 下顎枝の高さ
- (2) 下顎角の大きさ
- (3) オトガイ唇溝の深さ
- (4) 下顎隆起の大きさ
- (5) 下顎下縁平面の傾斜

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

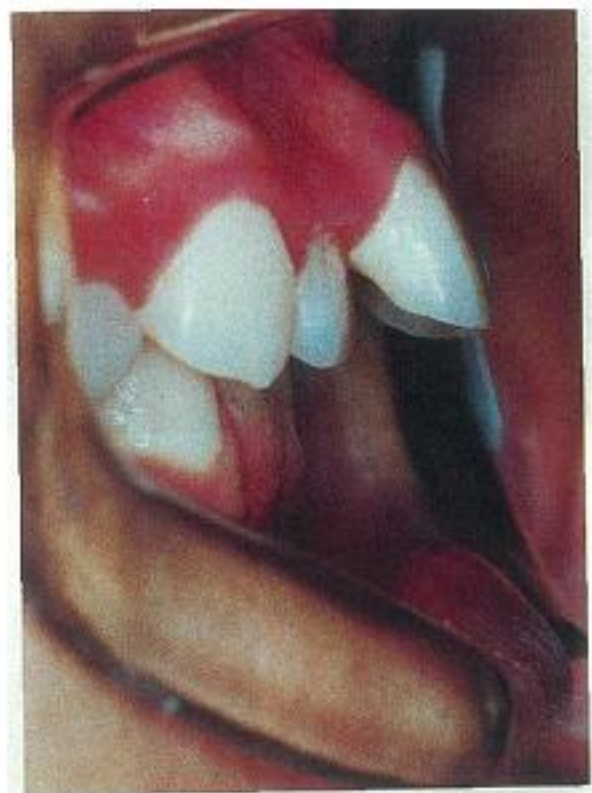
d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

66 11歳の男児。口元の前突感を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 25A)を別に示す。診断の結果、写真に示す矯正装置(別冊No. 25B)が選択された。

初診時のセファロ分析で基準値と比べて大きな値を示すのはどれか。2つ選べ。

- a SNA 角
- b SNB 角
- c ANB 角
- d FMA
- e Facial angle



67 10歳の男児。上顎右側中切歯の逆被蓋を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 26A、B)を別に示す。

リンガルアーチで効果的に矯正治療を行う方法はどれか。2つ選べ。

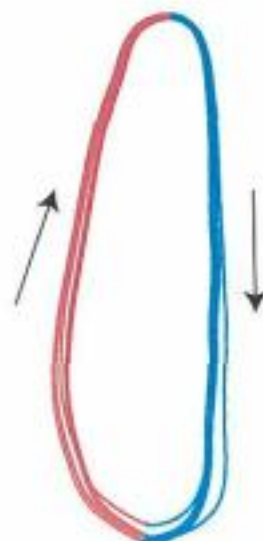
- a 弾線に強い矯正力の付与
- b バイトプレートの併用
- c ヘッドギアの併用
- d 1の切縁の削合
- e 1のスペースの確保



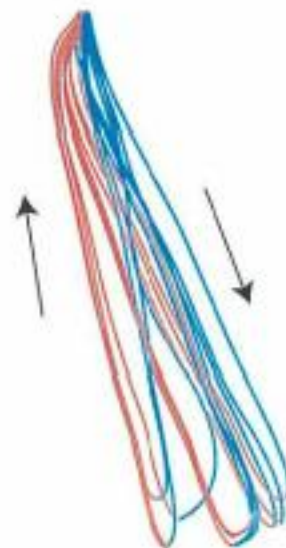
68 20歳の女性。臼歯部での咬合不安定を主訴として来院した。上下顎歯列の正中線は一致し、下顎の機能的な偏位は認められない。セファロ写真から骨格的な問題はなく、顎関節にも異常はない。ガム咀嚼時の下顎切歯点の前頭面運動経路(別冊No. 27)を別に示す。

考えられる矯正治療の方針はどれか。2つ選べ。

- a 上顎右側臼歯の口蓋側移動
- b 下顎右側臼歯の圧下
- c 上顎左側臼歯の頬側移動
- d 上顎左側臼歯の挺出
- e 下顎左側臼歯の舌側移動



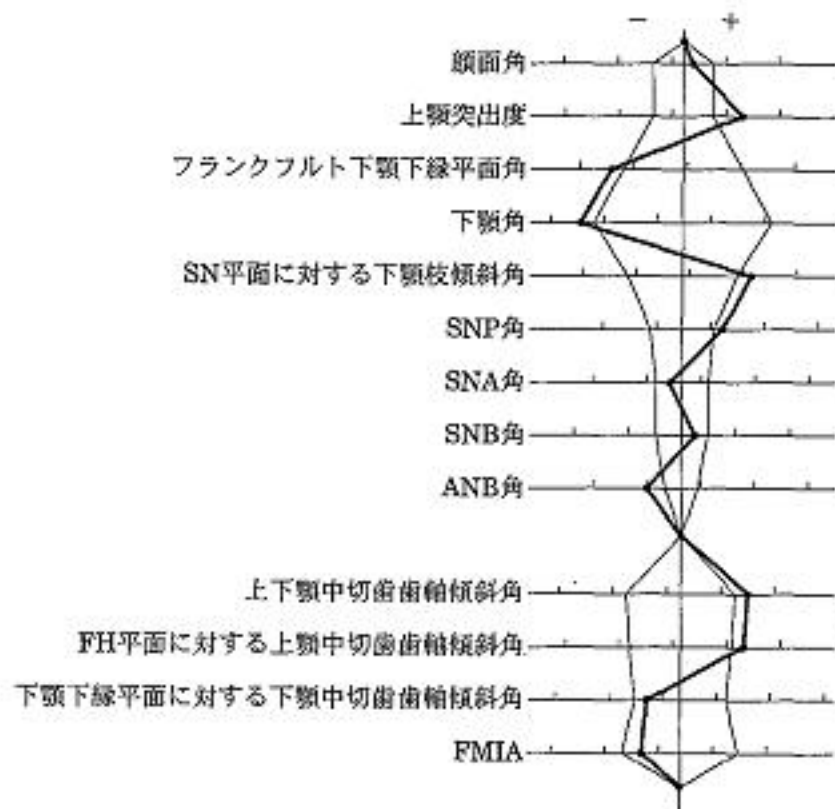
右咀嚼時



左咀嚼時

青：開口路
赤：閉口路

69 9歳の男児。下顎の側方偏位を主訴として来院した。偏位側で閉開口時クリックがある。初診時の咬頭嵌合位と早期接触位との口腔内写真(別冊No. 28A、B)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。

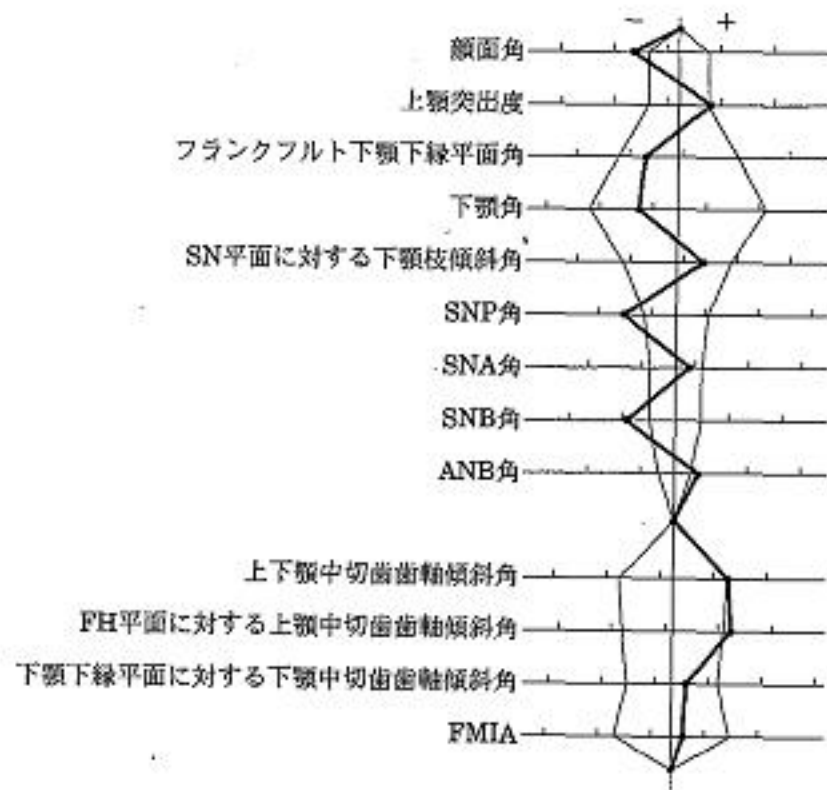


用いられる矯正装置はどれか。2つ選べ。

- a リンガルアーチ
- b ヘッドギア
- c 急速拡大装置
- d アクチバートル
- e リップバンパー



70 9歳の女兒。上顎前歯の前突感を主訴として来院した。初診時の顔面写真(別冊No. 29A)と口腔内写真(別冊No. 29B、C)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。

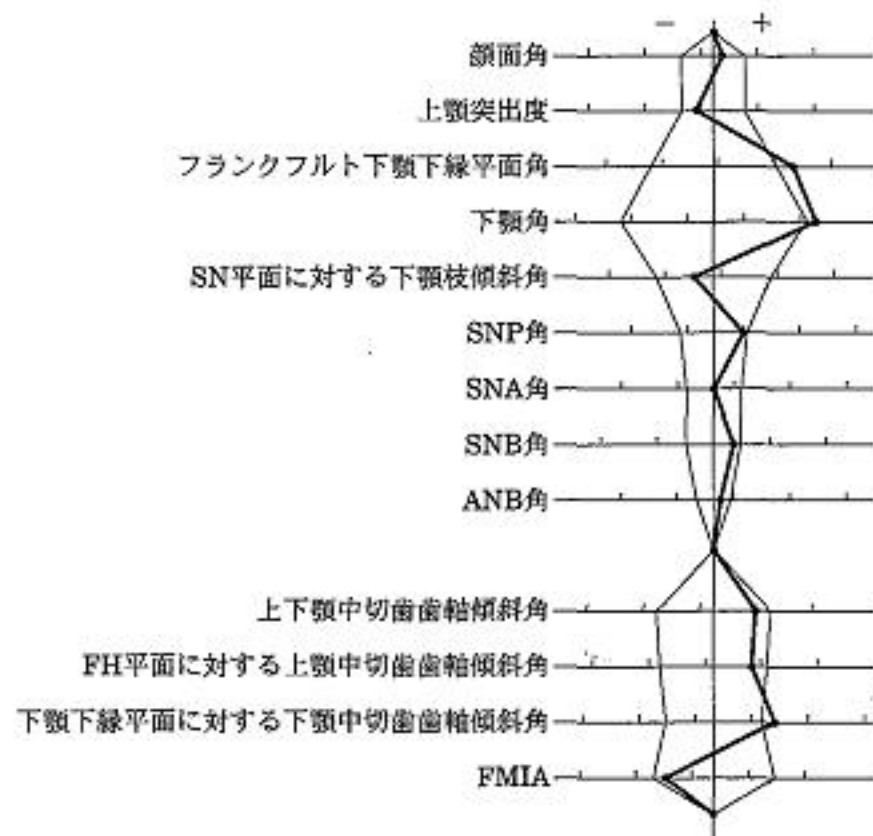


適切な診断はどれか。2つ選べ。

- a 上顎骨の前突
- b 下顎骨の後退
- c 下顔面高の過大
- d 上顎切歯の唇側傾斜
- e 下顎切歯の舌側傾斜



71 9歳の男児。上下顎切歯が咬合時に接触しないことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 30A、B)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



この時期の処置で考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a マルチブラケット装置による歯の排列
- b ヘッドギアによる上顎骨前方成長の抑制
- c タングクリップによる舌突出の防止
- d オトガイ帽装置による下顎骨垂直成長の抑制
- e 舌側弧線装置による上顎切歯の唇側移動



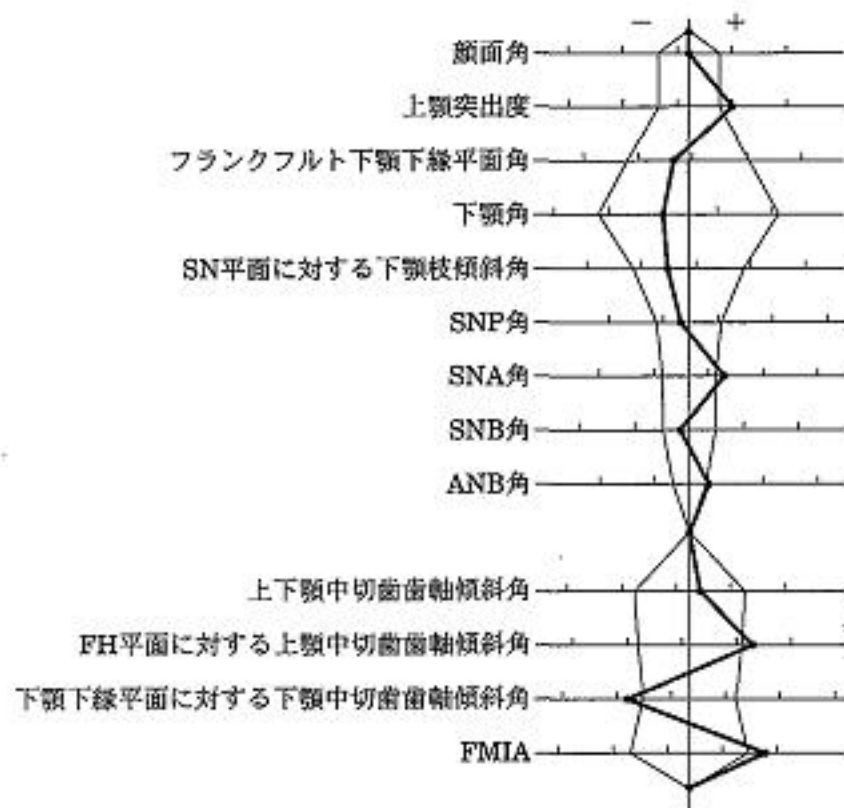
72 16歳の女子。上顎歯列正中の左方偏位と叢生の改善とを主訴として来院した。
初診時の口腔内写真(別冊No. 31A)と治療中の口腔内写真(別冊No. 31B、C、
D、E)とを別に示す。

正しいのはどれか。

- a 上顎左側第一小臼歯の遠心移動に複式弾線を用いた。
- b 上顎側切歯の唇側移動に指様弾線を用いた。
- c Begg 法による歯の排列を行った。
- d 下顎歯列の空隙閉鎖時に顎内ゴムを用いた。
- e 治療の最終段階でⅢ級ゴムを用いた。



73 9歳の女兒。上顎前歯の前突を主訴として来院した。オーバージェット+8 mmで、アーチレングスディスクレパンシーは上顎-1 mm、下顎-5 mmであった。初診時の顔面写真(別冊No. 32A)と口腔内写真(別冊No. 32B)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



治療方針で適切な組合せはどれか。2つ選べ。

- a バイオネーター ——— 下顎骨の前方成長促進
- b ヘッドギア ——— 上顎骨の前方成長抑制
- c 床装置 ——— 上顎切歯の舌側移動
- d リップバンパー ——— 下唇圧の排除
- e タングクリップ ——— 舌突出癖の解消



74 10歳の女児。上顎の前突感を主訴として来院した。セファロ分析から下顎骨の後退が認められた。矯正治療前後の模型写真(別冊No. 33A、B、C、D)を別に示す。

治療に用いた装置はどれか。

- a 咬合斜面板
- b ヘッドギア
- c 拡大床装置 ;
- d 顎間固定装置
- e Fränkel 装置



治療前



治療前



治療後



治療後

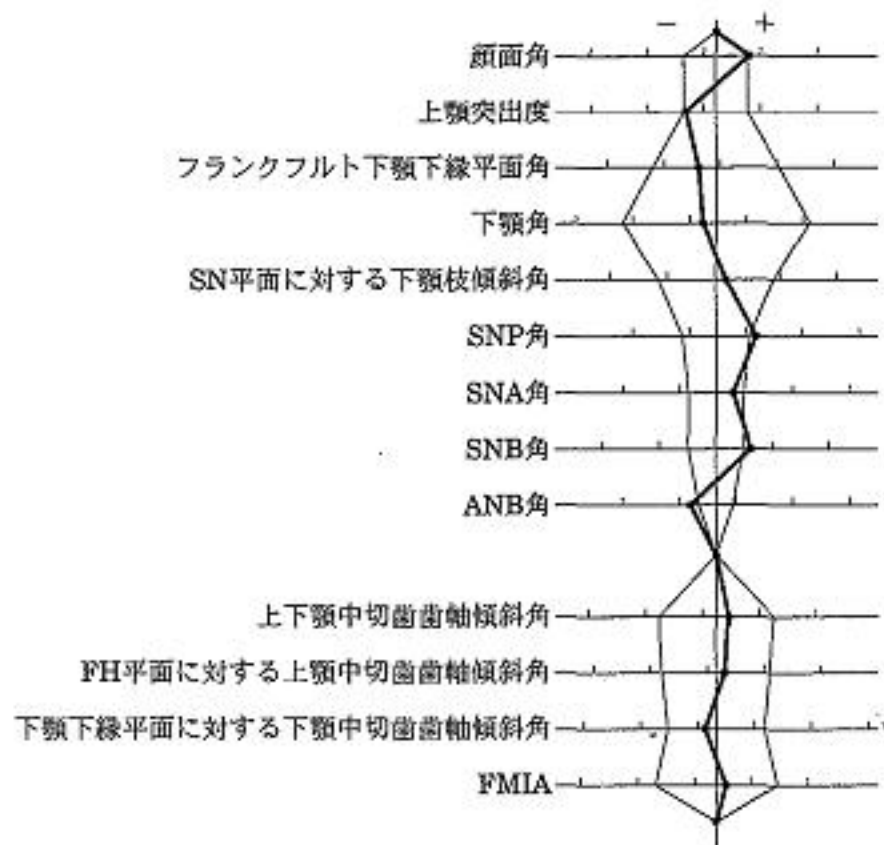
75 9歳の男児。反対咬合を主訴として来院した。初診時の咬頭嵌合位と切端咬合位との口腔内写真(別冊No. 34A、B)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



咬頭嵌合位



切端咬合位



治療方針で適切な組合せはどれか。2つ選べ。

- a 外科的矯正治療 ————— 下顎骨の後退
- b 上顎前方牽引装置 ————— 上顎前方成長の促進
- c 機能的矯正装置 ————— 前歯部被蓋の改善
- d オトガイ帽装置 ————— 下顎前方成長の抑制
- e マルチブラケット装置 ————— 下顎切歯の舌側移動

1 顎骨の放射線性骨髄炎で正しいのはどれか。

- (1) 細菌感染が誘因となる。
- (2) 照射後2週以内に起こる。
- (3) 外部照射では起こらない。
- (4) 無歯顎では起こらない。
- (5) 上顎より下顎に頻発する。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

2 限局性のエックス線不透過像を示すのはどれか。

- (1) 歯牙腫
- (2) 線維性骨異形成症
- (3) 歯原性粘液腫
- (4) エナメル上皮腫
- (5) 良性セメント芽細胞腫

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

3 血友病 A の患者の抜歯に際して確認すべき事項はどれか。

- (1) 出血時間
- (2) 凝固時間
- (3) 第Ⅷ因子活性
- (4) 好中球数
- (5) 毛細血管抵抗性

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

4 19歳の男性。咬合不全を主訴として来院した。転倒しオトガイ部を強打したという。エックス線写真で下顎正中部に骨折線を認める。

まず行うべき対応はどれか。

- a 経過観察
- b 咬合調整
- c スプリント療法
- d オトガイ帽法
- e ゴム牽引による整復

5 65歳の男性。左側舌縁に直径15 mmの潰瘍とその周囲に22×28 mmの硬結とを認めた。画像診断で左側顎下部に直径2 cmの球形のリンパ節1個を確認した。胸部エックス線写真で異常を認めず、生検で扁平上皮癌の病理診断を得た。

TNM分類で正しいのはどれか。

- a T1N0M0
- b T1N1M0
- c T2N1M0
- d T2N2M0
- e T3N2M1

6 顎関節前方脱臼で見られるのはどれか。

- (1) 閉口障害
- (2) 耳珠前方の陥凹
- (3) 頬骨弓下部の膨隆
- (4) 眼裂閉鎖不全
- (5) 頬部知覚麻痺

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

7 エピネフリン含有2%塩酸リドカインが使用できるのはどれか。

- a 気管支喘息
- b 頻脈を伴う心房細動
- c 第Ⅲ期の高血圧症
- d 甲状腺機能亢進症
- e 褐色細胞腫

8 28歳の女性。抜髄のためエピネフリン含有2%塩酸リドカイン1.8 mlで浸潤麻酔を行った。その直後、気分不快を訴え、顔面蒼白、冷汗がみられる。血圧は60/30 mmHg、脈拍は43回/分である。

まず行うべき処置はどれか。

- a 酸素を投与する。
- b 気道を確保する。
- c ショック体位をとる。
- d 静脈路を確保する。
- e 硫酸アトロピンを投与する。

- 9 三叉神経痛の特徴はどれか。
- a 両側性の発症
 - b 持続性の鈍痛
 - c 洗面などによる発作誘発
 - d 第Ⅰ枝の罹患
 - e 睡眠時の疼痛発作

10 口唇・口蓋裂で正しいのはどれか。

- (1) 発生頻度は出生児 2,000 人に 1 人である。
- (2) 唇裂は胎生 11 週ころに生じる。
- (3) 多因子要因により発症する。
- (4) 唇裂と口蓋裂との合併は男性に多い。
- (5) 唇裂の発生部位は右側に多い。

a (1)、(2)、 b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

- 11 舌癌で誤っているのはどれか。
- a 口腔癌の中で発生頻度が高い。
 - b 好発部位は舌背である。
 - c 初発症状として疼痛が多い。
 - d リンパ節転移を起こしやすい。
 - e 組織学的には扁平上皮癌が多い。

12 56歳の女性。左側頬部の紅斑を伴う小水疱を主訴として来院した。5日前から微熱と左側頬部の違和感とがあったという。左側の舌および頬粘膜に水疱と潰瘍とがみられる。

疑われるのはどれか。

- a 手足口病
- b 帯状疱疹
- c ヘルパンギーナ
- d 類天疱瘡
- e 先天性表皮水疱症

13 顎骨に異常を伴うのはどれか。

- (1) Stevens-Johnson 症候群
- (2) Melkersson-Rosenthal 症候群
- (3) Goldenhar 症候群
- (4) Gardner 症候群
- (5) Peutz-Jeghers 症候群

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

14 結核で正しいのはどれか。

- (1) *Treponema pallidum* による感染症である。
- (2) ツベルクリン反応で陽性を示す。
- (3) 組織像で Langhans 型巨細胞がみられる。
- (4) 口腔粘膜の潰瘍は穿掘性を示す。
- (5) ペニシリン系抗菌薬が第一選択となる。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

15 下顎頭の腫瘍で多いのはどれか。

- a 血管腫
- b 骨軟骨腫
- c 線維腫
- d 脂肪腫
- e 筋腫

16 正しい組合せはどれか。

(1) 上顎前突症 ————— 上顎前方歯槽骨切り術

(2) 上顎後退症 ————— Le Fort I 型骨切り術

(3) 下顎前突症 ————— 下顎枝矢状分割術

(4) 下顎後退症 ————— 下顎枝垂直骨切り術

(5) 開咬症 ————— オトガイ形成術

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

17 下顎エナメル上皮腫で特徴的なのはどれか。

- a 中年以降に好発する。
- b 前歯部に好発する。
- c 疼痛がある。
- d 膨脹性に発育する。
- e 浮遊歯がみられる。

18 アフタ性潰瘍を形成するのはどれか。

- (1) 周期性好中球減少症
- (2) Behçet 病
- (3) Plummer-Vinson 症候群
- (4) Sturge-Weber 症候群
- (5) 無汗型外胚葉性異形成症

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

19 疱疹性歯肉口内炎で正しいのはどれか。

- (1) HSV が原因である。
- (2) 小水疱が特徴である。
- (3) 発熱を伴う。
- (4) 三叉神経麻痺を伴う。
- (5) 血清抗体価は発症時に上昇する。

a (1)、(2)、(3) ;

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

20 顔面神経麻痺の症状でみられないのはどれか。

- a 患側眼瞼の閉鎖不全
- b 患側鼻唇溝の消失
- c 人中の患側への偏位
- d 患側口角の下垂
- e 味覚障害

21 顎下腺唾石を描出できないのはどれか。

- a パノラマエックス線撮影
- b CT
- c 唾液腺造影法
- d 咬翼法
- e 咬合法

22 正しい組合せはどれか。

- a 下顎体部骨折 ————— 舌根沈下
- b Le Fort II 型骨折 ————— 頬部知覚異常
- c 頬骨骨折 ————— 顎関節異常
- d 眼窩底骨折 ————— 眼裂拡大
- e 鼻骨骨折 ————— 副鼻腔炎

23 ある疾患の特徴を①～⑤に示す。

- ① 耳下腺に好発する。
- ② 小児の発現率は極めて低い。
- ③ 発育は緩慢である。
- ④ 線維性被膜によって覆われる。
- ⑤ 軟骨様組織、粘液腫様構造を認める。

疾患はどれか。

- a 多形性線腫
- b Warthin 腫瘍
- c オンコサイトーマ
- d 粘表皮癌
- e 腺様嚢胞癌

24 20歳の女性。歯科治療中に喘息発作を起こした。

使用するのはいずれか。

- a 塩酸リドカイン
- b 塩酸エピネフリン
- c ジアゼパム
- d アスピリン
- e アンピシリン

25 耳下腺部外傷の後遺症として起こり得るのはどれか。

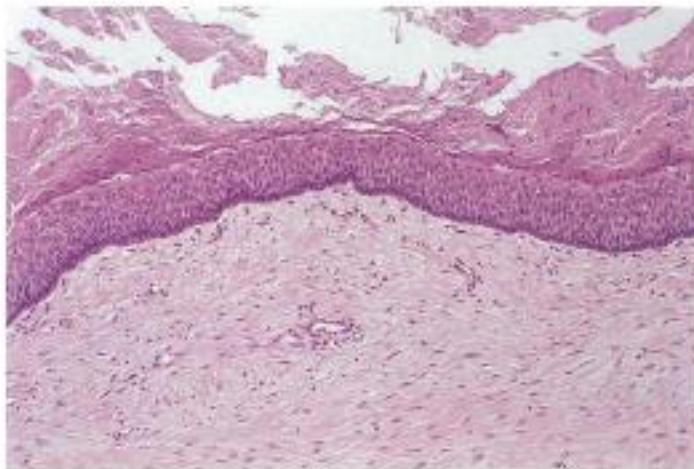
- (1) 舌の知覚異常
- (2) 味覚障害
- (3) 涙腺の分泌異常
- (4) 口角下垂
- (5) 唾液瘻

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

26 22歳の女性。両側下顎部の無痛性腫脹を主訴として来院した。1年前に気付いたが、痛みがないので放置していたという。腫脹は骨様硬で圧痛はない。皮膚母斑と二分肋骨とを伴っていた。初診時のエックス線写真(別冊No. 1A)と生検時の病理組織像(別冊No. 1B)とを別に示す。

診断名はどれか。

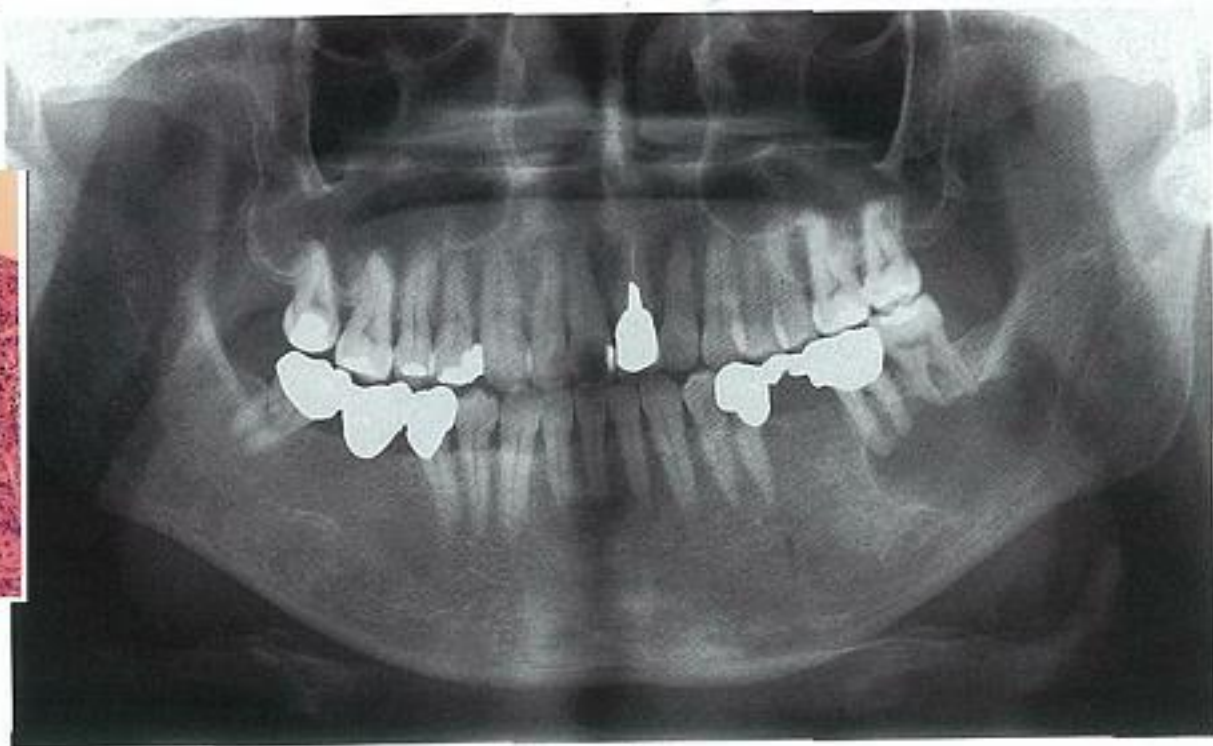
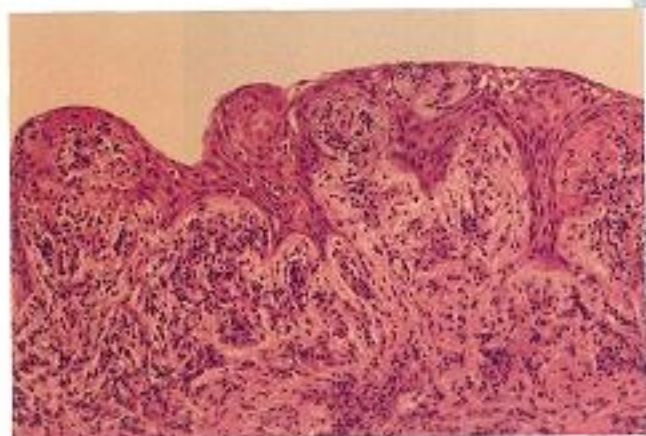
- a Gardner 症候群
- b 鎖骨頭蓋骨異形成症
- c 基底細胞母斑症候群
- d 外胚葉性異形成症
- e 神経線維腫症



27 41歳の男性。下顎左側臼歯部歯肉の腫脹を主訴として来院した。1か月前に気付いたが、痛みがないので放置していたという。軽度の圧痛と波動とを触れる。初診時のエックス線写真(別冊No. 2A)と摘出物の病理組織像(別冊No. 2B)とを別に示す。

診断名はどれか。

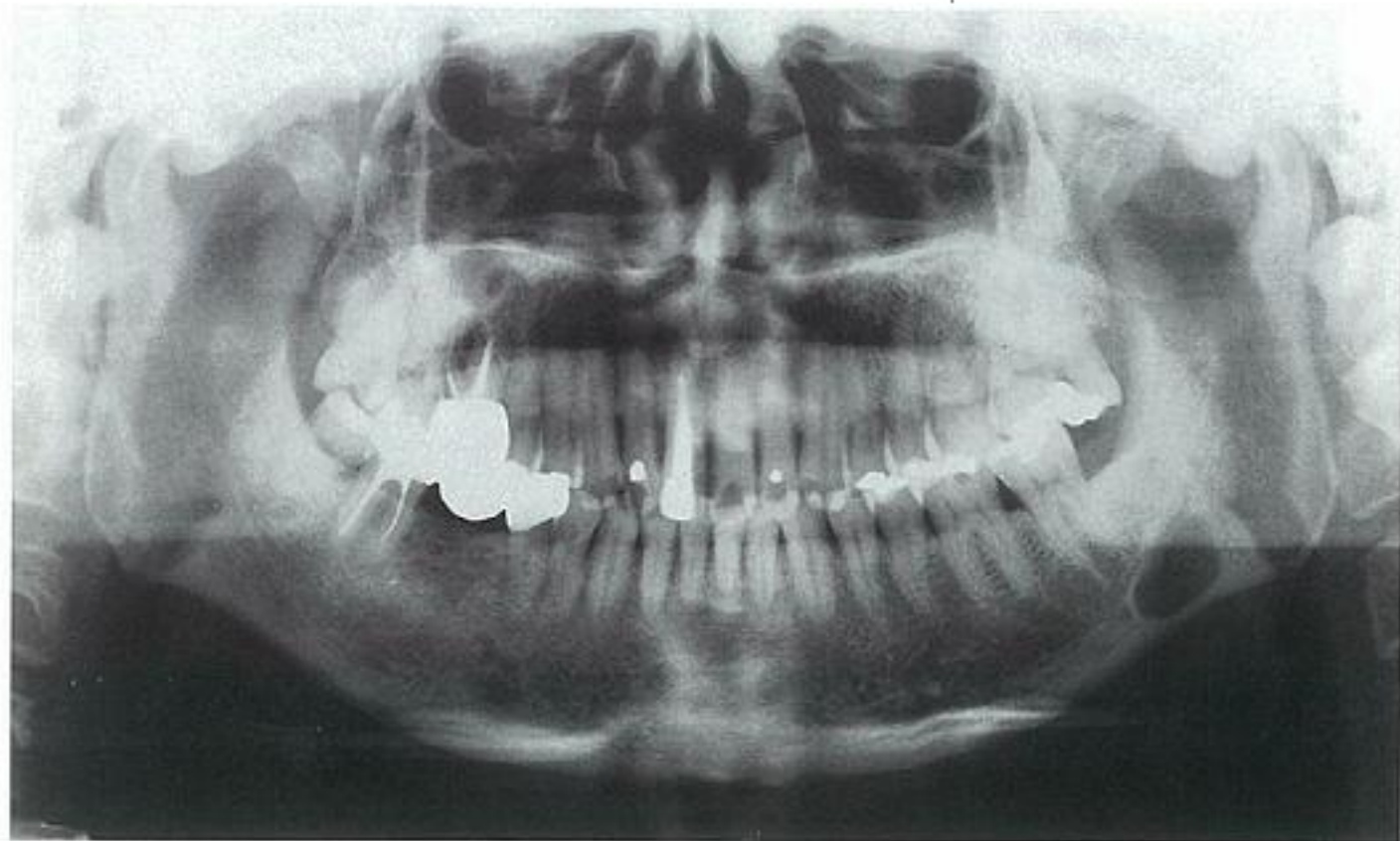
- a 含歯性嚢胞
- b 歯根嚢胞
- c エナメル上皮腫
- d 腺様歯原性腫瘍
- e 単純性骨嚢胞



28 53歳の男性。下顎左側臼歯部の精査を主訴として来院した。2か月前の歯科治療時に病変を指摘されたが、痛みがないので放置していたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 3)を別に示す。

疑われるのはどれか。

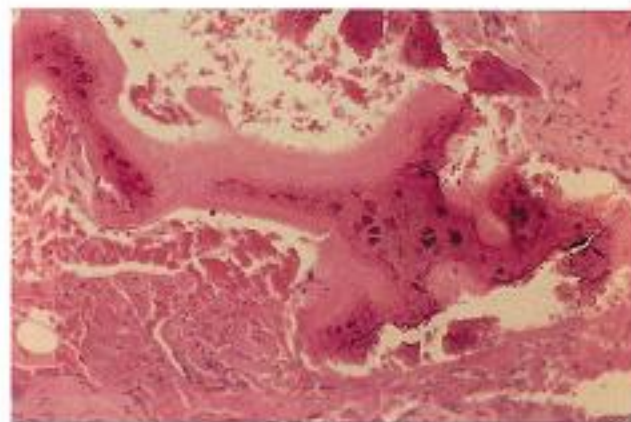
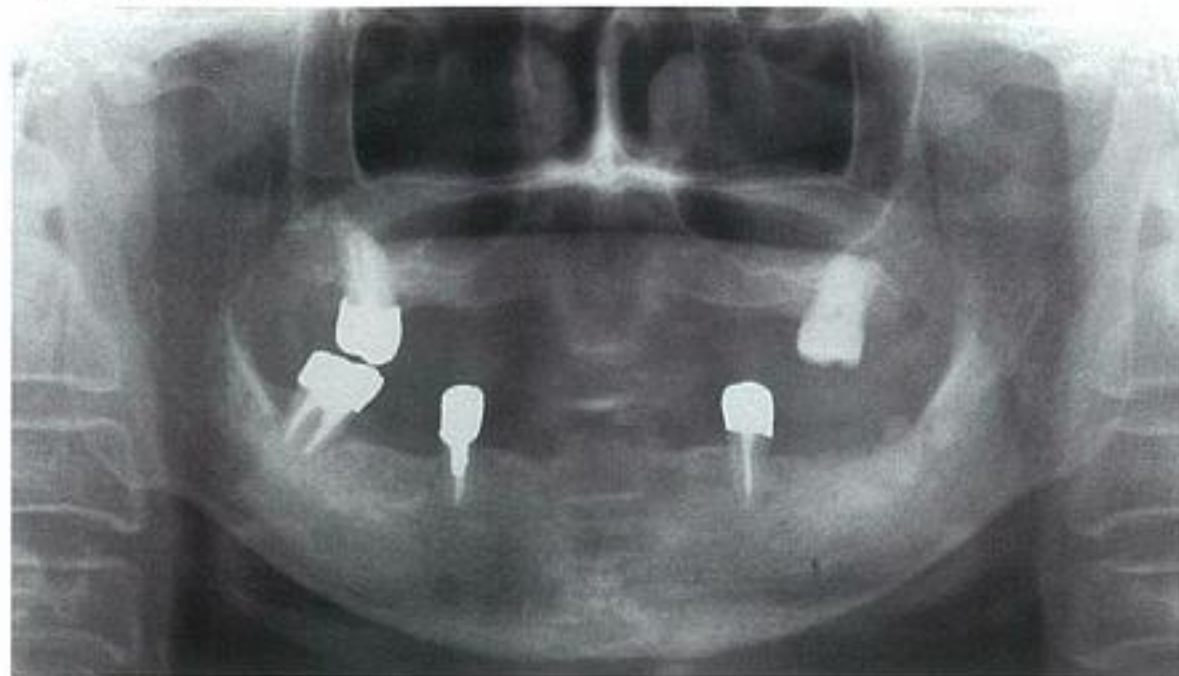
- a 単純性骨嚢胞
- b 歯根嚢胞
- c 静止性骨空洞
- d 原始性嚢胞
- e 萌出嚢胞



29 66歳の女性。左側頬部の有痛性腫脹を主訴として来院した。6か月前に下顎左側第一大臼歯を抜去した後、歯肉から頬部にかけての腫脹を繰り返し、開口障害を伴ってきたという。歯肉からの排膿を認める。初診時のエックス線写真(別冊No. 4A、B)と病理組織像(別冊No. 4C)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 扁平上皮癌
- b エナメル上皮腫
- c 歯源性石灰化上皮腫
- d 線維性骨異形成症
- e 慢性骨髓炎



30 11歳の女兒。下顎右側第一小白歯部の腫瘤を主訴として来院した。4部の頬側歯肉に骨様硬の腫脹がみられるが、圧痛はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 5A、B)を別に示す。

疑われるのはどれか。

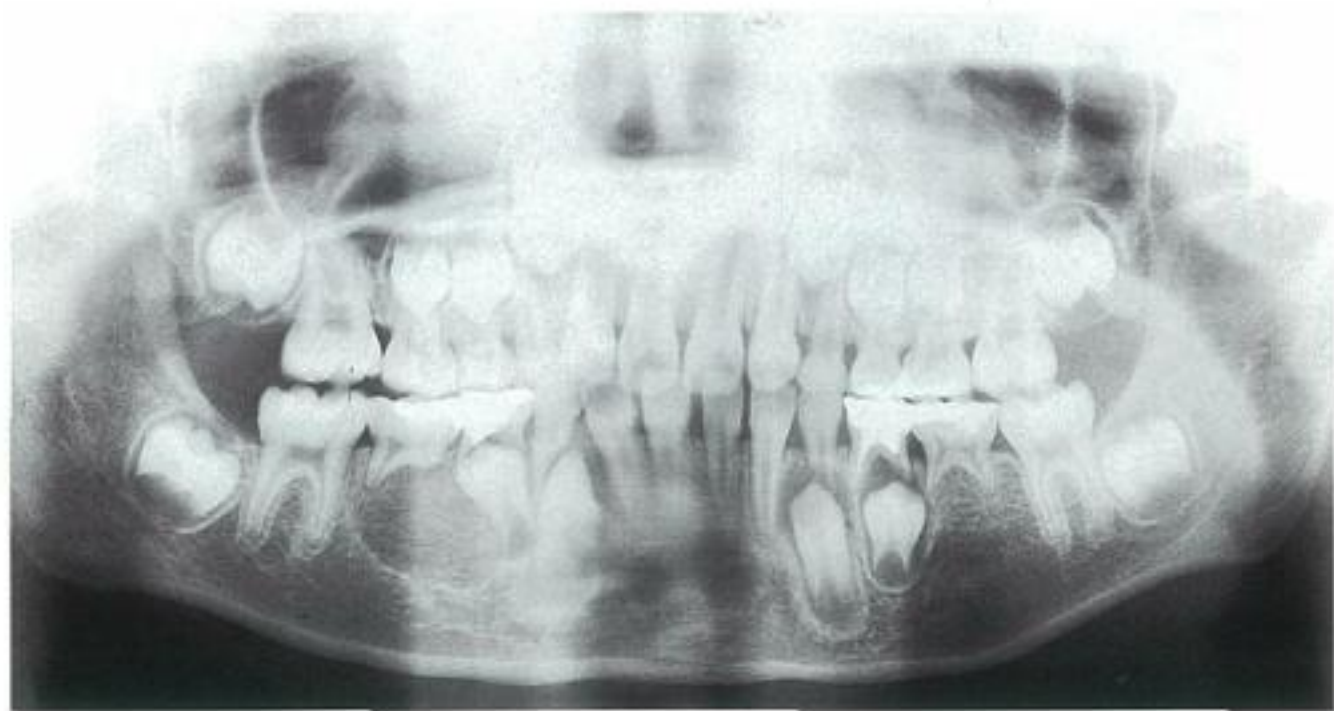
- a 石灰化歯原性嚢胞
- b 歯牙腫
- c 骨 腫
- d セメント質骨形成線維腫
- e 線維性骨異形成症



31 8歳の女児。下顎右側第二乳臼歯部の軽度の疼痛を主訴として来院した。初診時のエックス線写真(別冊No. 6A、B)を別に示す。

適切な処置はどれか。2つ選べ。

- a $\overline{D E}$ の抜歯
- b $\overline{4}$ の抜歯
- c 開窓術
- d 歯肉切除術
- e 顎骨部分切除術

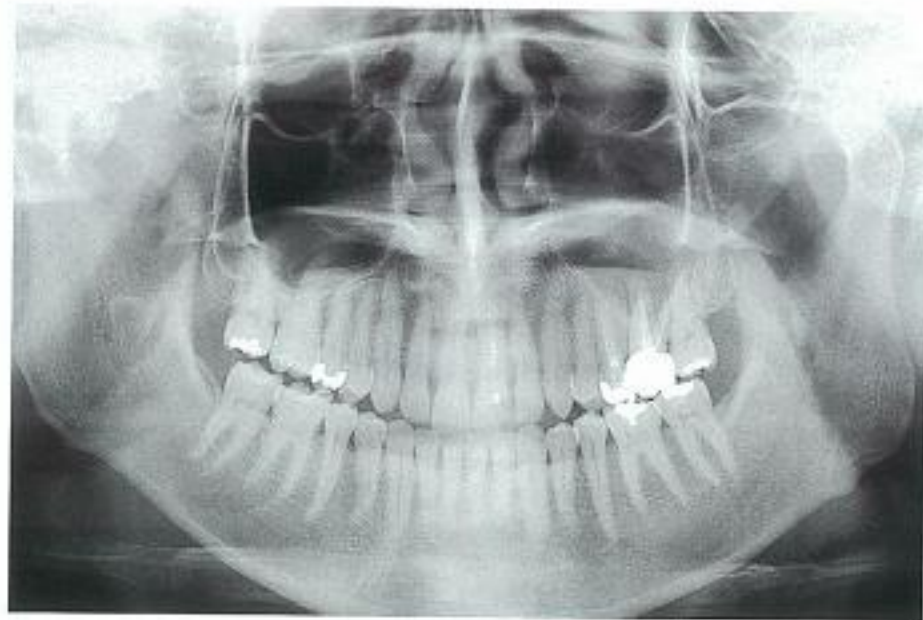


32 39歳の男性。上顎左側第一大臼歯の咬合痛を主訴として来院した。5 6は5年前に治療を受けたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 7A)とCT写真(別冊No. 7B)とを別に示す。6を抜歯したところ、抜歯窩から排膿が認められた。

次に行うべき処置はどれか。

- (1) 抗菌薬の投与
- (2) 抜歯窩から上顎洞洗浄
- (3) 抜歯窩の閉鎖手術
- (4) 6歯肉頬移行部の切開・排膿
- (5) 上顎洞根治手術

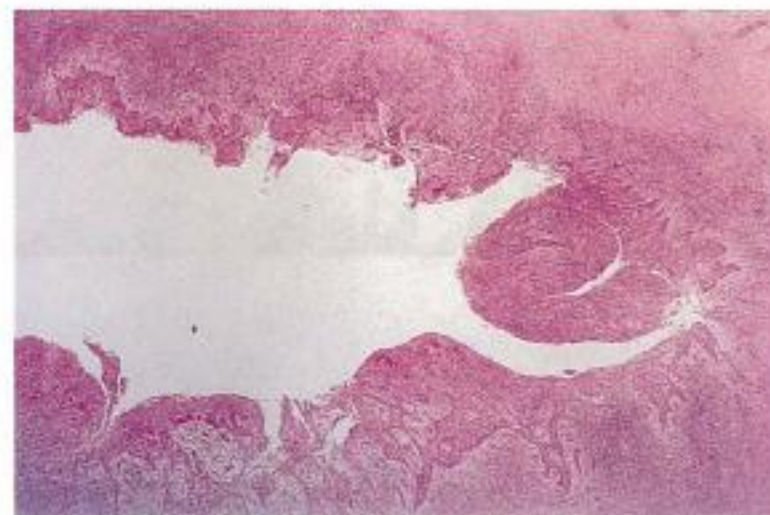
a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3) d (3), (4) e (4), (5)



33 31歳の男性。下顎右側第二大臼歯の咬合痛を主訴として来院した。電気診で71は反応がない。初診時のエックス線写真(別冊No. 8A、B)と手術時の病理組織像(別冊No. 8C)とを別に示す。

診断名はどれか。

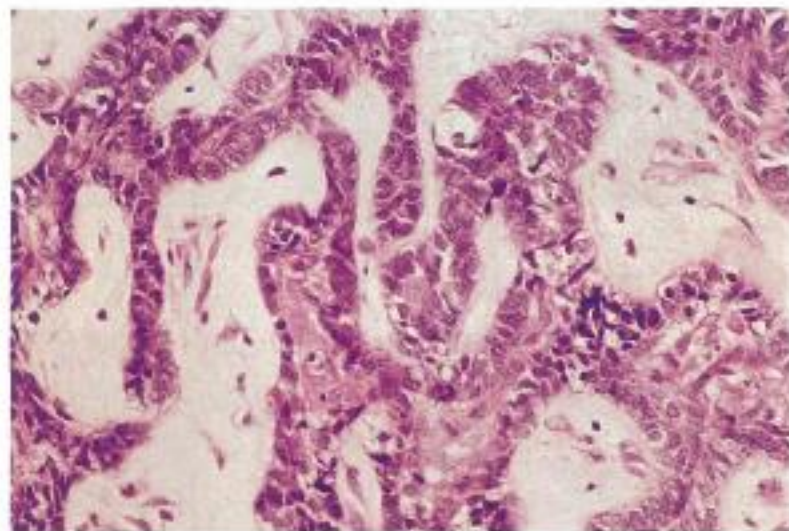
- a 歯周嚢胞
- b 含歯性嚢胞
- c 単純性骨嚢胞
- d 石灰化歯原性嚢胞
- e 原始性嚢胞



34 18歳の女子。下顎左側第一大臼歯の咬合痛を主訴として来院した。[6]は電気診に反応がなく、歯肉頬移行部がわずかに腫脹している。初診時のエックス線写真(別冊No. 9A)と生検時の病理組織像(別冊No. 9B)とを別に示す。

診断名はどれか。

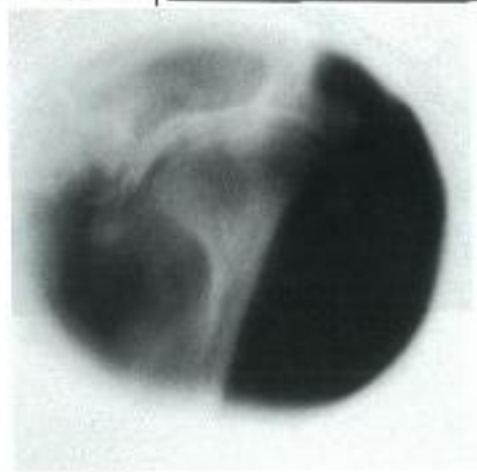
- a 歯根嚢胞
- b 単純性骨嚢胞
- c 原始性嚢胞
- d 歯原性線維腫
- e エナメル上皮腫



35 38歳の男性。開口障害を主訴として来院した。3歳時に右側中耳の手術を受けた。成長につれ開口障害を自覚するようになったという。初診時の口腔内写真(別冊No. 10A)、側方単純エックス線写真(別冊No. 10B)および両側顎関節断層エックス線写真(別冊No. 10C、D)を別に示す。

適切な治療法はどれか。

- a スプリント療法
- b 関節腔穿刺法
- c 関節円板切除術
- d 顎関節授動術
- e 下顎枝矢状分割術



36 54歳の女性。口腔内の疼痛を主訴として来院した。2日前に発熱とともに、口腔全体に接触痛を生じ、摂食困難となったという。体温 38.4℃で、両側顎下リンパ節の腫脹と圧痛とが認められる。初診時の口腔内写真(別冊No. 11A、B)を別に示す。

まず行うべき対応はどれか。2つ選べ。

- a 栄養管理
- b アムホテリシンBの投与
- c アシクロビルの投与
- d プレドニゾロンの投与
- e 星状神経節ブロック



37 53歳の男性。救急車で搬送され来院した。1時間前に転倒して顔面部を強打し、その際一時的に意識喪失があったという。初診時の口腔内写真(別冊No. 12)を別に示す。

まず行うべき対応はどれか。

- (1) 血液学検査
- (2) 抗菌薬の投与
- (3) バイタルサインのチェック
- (4) 顔面部のエックス線検査
- (5) 脳神経外科との対診

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

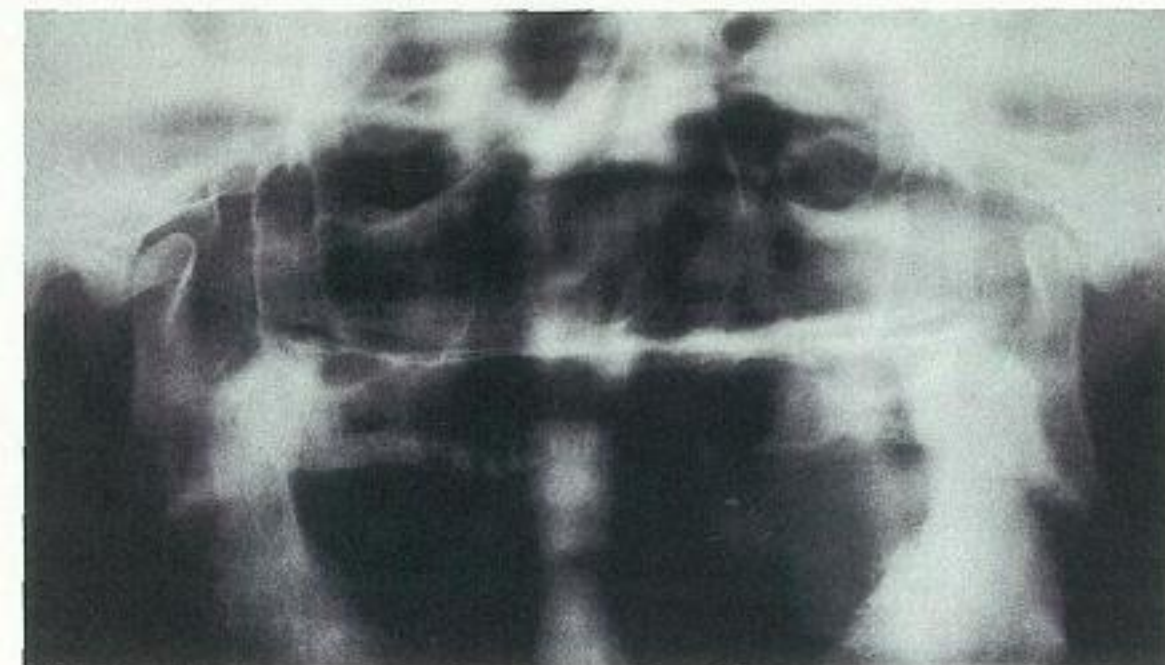


38 60歳の男性。閉口障害を主訴として来院した。昨日から閉口不能と流涎とが認められるようになったという。初診時の側貌写真(別冊No. 13A)とエックス線写真(別冊No. 13B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- (1) 筋弛緩薬の投与
- (2) マイオモニターによる筋訓練
- (3) 徒手整復
- (4) オトガイ帽の装着
- (5) 顎関節授動術

a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3) d (3), (4) e (4), (5)



39 62歳の男性。右側顔面の麻痺を主訴として来院した。昨日、窓を開けて自動車を運転中、突然右側顔面に違和感を覚えたという。初診時の顔貌写真(別冊No. 14)を別に示す。

適切な薬物はどれか。

- (1) ATP 製剤
- (2) カルバマゼピン
- (3) 抗ウイルス薬
- (4) 副腎皮質ステロイド薬
- (5) ビタミン B₁₂ 製剤

a (1), (2), (3)

b (1), (2), (5)

c (1), (4), (5)

d (2), (3), (4)

e (3), (4), (5)



40 24歳の女性。下顎骨骨折の診断で、観血的整復術を予定した。ハロタン、笑気および酸素にて全身麻酔を行った。麻酔開始30分後から体温が 39.8°C に急激に上昇し、頻脈、不整脈およびミオグロビン尿がみられた。この時の血液学検査の結果を表に示す。

CK	: 210 単位(基準値 10~40)
LDH	: 640 単位(基準値 170~350)
AST(GOT)	: 上昇(軽度)
ALT(GPT)	: 上昇(軽度)
K ⁺	: 上昇(軽度)

適切な薬物はどれか。

- a スルピリン
- b ダントロレンナトリウム
- c 硫酸アトロピン
- d 塩化カリウム
- e 塩酸エピネフリン

41 19歳の女性。下顎前突症の手術を希望して来院した。時々立ちくらみがあるという。血液学検査の結果を表に示す。

赤血球	: 393 万/ μ l
ヘモグロビン	: 8.9 g/dl
ヘマトクリット	: 30.4%
白血球	: 5,700/ μ l
血小板	: 22 万/ μ l

白血球分類

好中球	: 62.8%
好酸球	: 0.4%
好塩基球	: 0.3%
単球	: 5.6%
リンパ球	: 30.9%

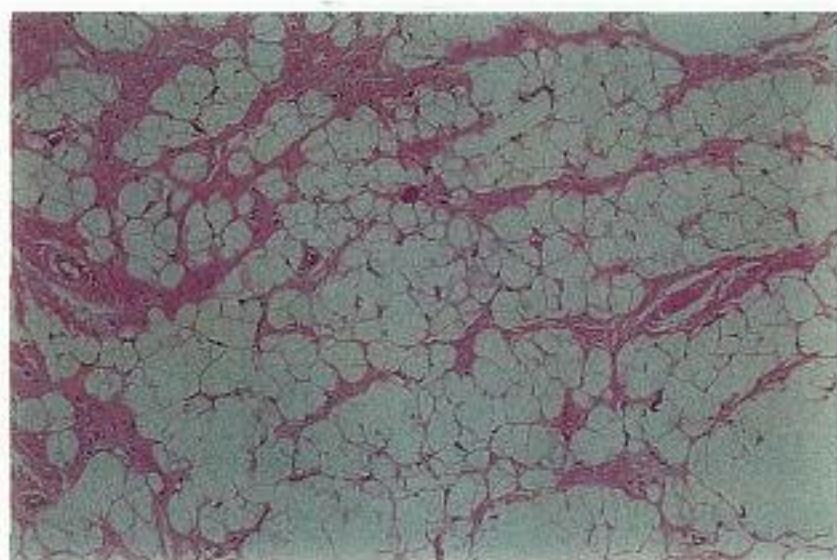
疑われるのはどれか。

- a 鉄欠乏性貧血
- b 巨赤芽球性貧血
- c 溶血性貧血
- d 再生不良性貧血
- e 顆粒球減少症

42 56歳の男性。下顎右側の腫瘤を主訴として来院した。3年前に気付いたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 15A)、摘出物の断面像(別冊No. 15B)および病理組織像(別冊No. 15C)を別に示す。

診断名はどれか。

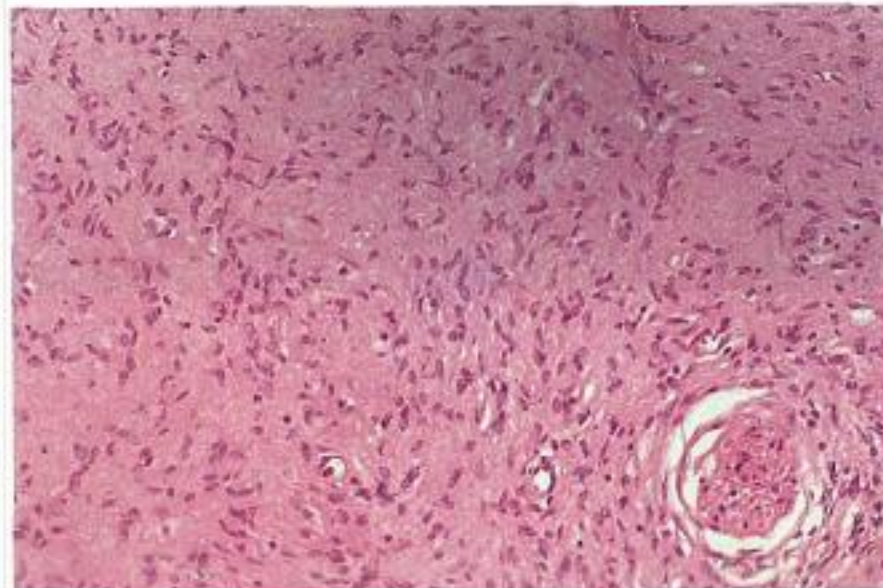
- a 線維腫
- b 脂肪腫
- c 血管腫
- d リンパ管腫
- e 神経鞘腫



43 36歳の男性。下顎左側臼歯部歯肉の腫脹を主訴として来院した。1か月前に同部の腫脹に気付いたという。顔面、体幹部および四肢などに小腫瘍がみられる。初診時の口腔内写真(別冊No. 16A)、胸腹部の写真(別冊No. 16B)および生検時の病理組織像(別冊No. 16C)を別に示す。

診断名はどれか。

- a von Recklinghausen 病
- b Addison 病
- c McCune-Albright 症候群
- d 基底細胞母斑症候群
- e Peutz-Jeghers 症候群



44 34歳の男性。口腔の疼痛を主訴として来院した。3日前、発熱とともに上下顎前歯部歯肉に自発痛と接触痛とを生じたという。体温 37.8℃。血球検査で白血球数 8,700/ μ l であった。初診時の口腔内写真(別冊No. 17A、B)を別に示す。

適切でない処置はどれか。

- a 口腔内洗浄
- b 含嗽薬による洗口
- c 抗炎症鎮痛薬投与
- d 抗菌薬投与
- e 副腎皮質ステロイド薬投与



45 36歳の男性。口腔の疼痛を主訴として来院した。7年前から年に数回口腔内に
有痛性の潰瘍を生じ、最近頻繁に再発を繰り返すようになったという。検査で血清
補体価の上昇、IgDの増加、血漿フィブリノゲンの増加がみられた。初診時の口腔
内写真(別冊No. 18A)と足背の写真(別冊No. 18B)とを別に示す。

疑われる疾患はどれか。

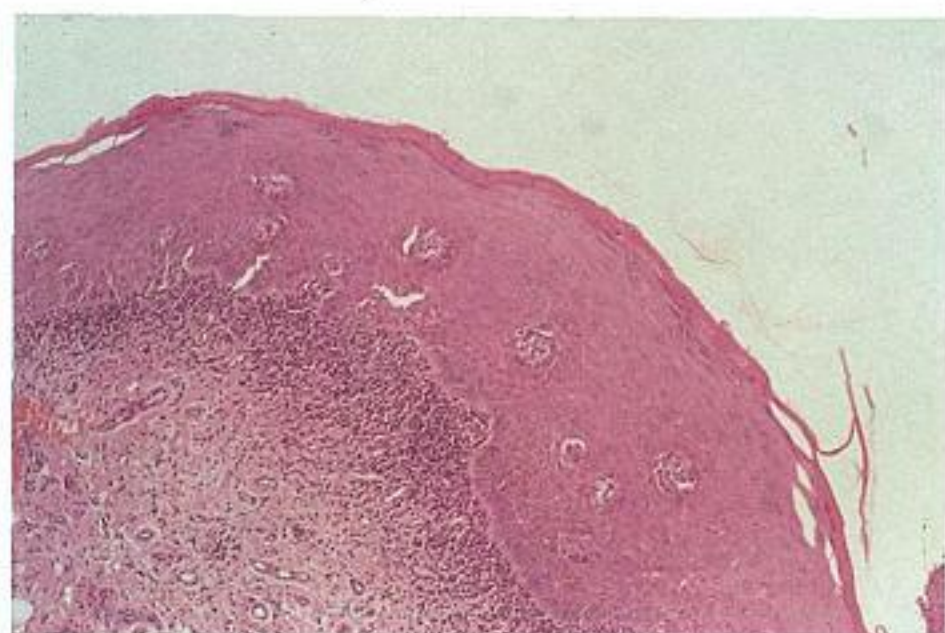
- a 疱疹性口内炎
- b 全身性エリテマトーデス
- c Behçet病
- d 多形滲出性紅斑
- e 尋常性天疱瘡



46 60歳の女性。口腔の接触痛を主訴として来院した。3年前から両側頬粘膜に軽度の接触痛と粗糙感とがあった。1週間前から接触痛がひどく、塩味の濃い食物にしみるようになったという。初診時の口腔内写真(別冊No. 19A、B)と生検時の病理組織像(別冊No. 19C)とを別に示す。

適切な治療はどれか。2つ選べ。

- a 抗菌薬投与
- b 副腎皮質ステロイド軟膏塗布
- c 抗炎症鎮痛薬投与
- d 抗ウイルス薬投与
- e 外科的切除



47 30歳の男性。開口障害と嚥下困難とを主訴として来院した。5日前に下顎左側智歯を抜去、翌日から舌下部と顎下部とが腫脹し、開口障害を生じたという。体温38.7℃。嚥下痛が強いが、呼吸困難は訴えない。初診時の顔貌写真(別冊No. 20A)、口腔内写真(別冊No. 20B)、エックス線写真(別冊No. 20C)およびCT写真(別冊No. 20D)を別に示す。

まず行うべき処置はどれか。2つ選べ。

- a 温電法
- b 抗菌薬投与
- c 切開・排膿
- d 抜歯窩再搔爬
- e 気管切開



48 70歳の女性。左側下顎角部の腫脹を主訴として来院した。3年前から腫脹を繰り返しているという。腫脹部は弾性軟で、軽度の圧痛がある。初診時の唾液腺造影写真(別冊No. 21)を別に示す。

認められるのはどれか。

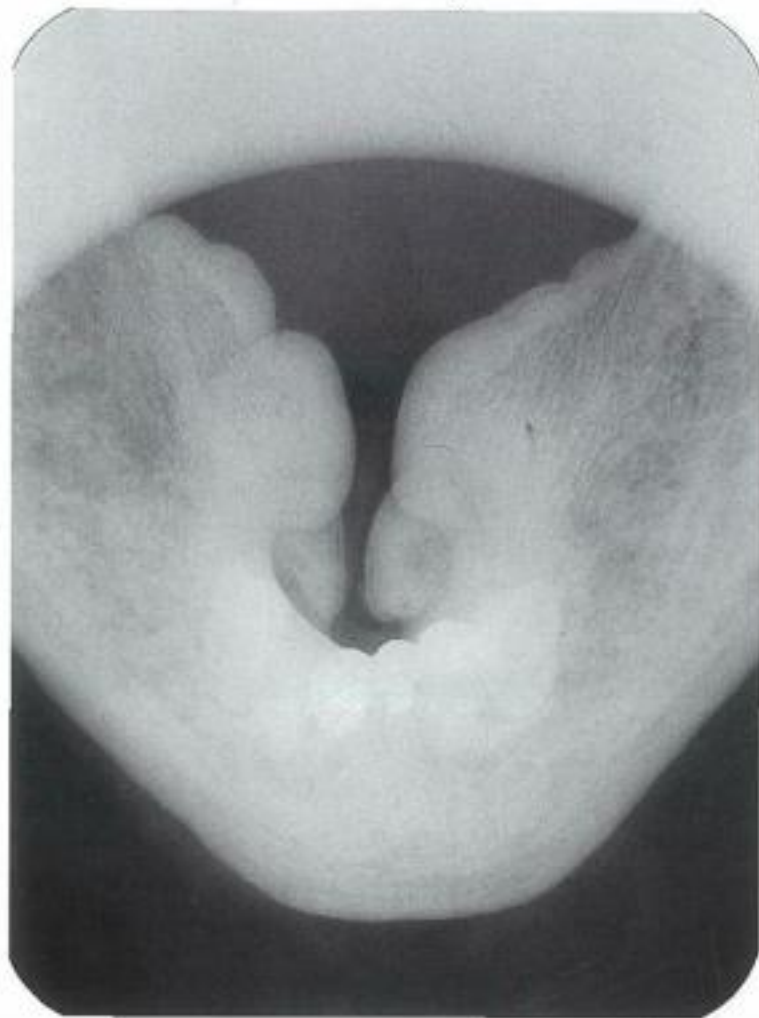
- a 導管閉塞
- b 導管拡張と狭窄
- c 腺体欠損
- d 腺房貯留
- e 唾液漏



49 65歳の女性。下顎の腫瘤を主訴として来院した。30年前から気付いていたという。腫瘤は正常粘膜で覆われ、骨様硬で圧痛はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 22A)と摘出物の病理組織像(別冊No. 22B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 線維性骨異形成症
- b 歯牙腫
- c 下顎隆起
- d 骨形成性エプーリス
- e 骨肉腫



50 17歳の男子。口腔出血を主訴として来院した。本日バイクを運転中に受傷し、救急病院で応急処置を受けたという。 $\frac{4}{2}$ の脱落を認める。来院時の口腔内写真(別冊No. 23A)とエックス線写真(別冊No. 23B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。2つ選べ。

- a 損傷粘膜の縫合
- b $\frac{32}{112}$ の歯髄処置
- c $\frac{32}{112}$ の抜歯
- d $\frac{4}{2}$ 部の歯槽整形
- e 骨片の整復固定

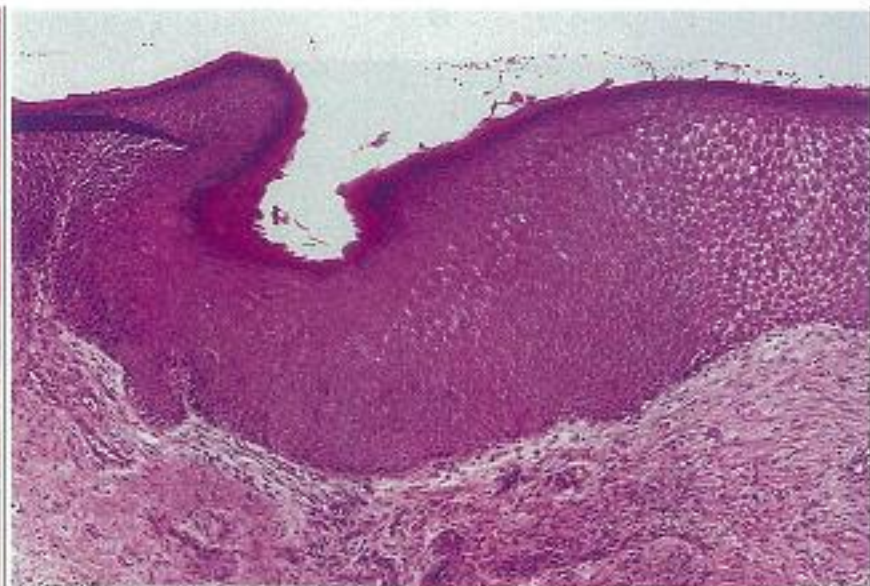


96D51

51 79歳の女性。下顎歯肉の白斑を主訴として来院した。半年前から気付いていたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 24A)と生検時の病理組織像(別冊No. 24B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 褥瘡性潰瘍
- b 白板症
- c 扁平苔癬
- d 乳頭腫
- e 扁平上皮癌



52 27歳の女性。閉口不能を主訴として来院した。今朝あくびをした後に閉口できなくなったという。初診時の顔貌写真(別冊No. 25A、B)を別に示す。

診断に有用なのはどれか。2つ選べ。

- a パノラマエックス線撮影法
- b Waters 法
- c 後頭前頭方向撮影法
- d 顎関節側方向撮影法
- e 顎関節前後方向撮影法

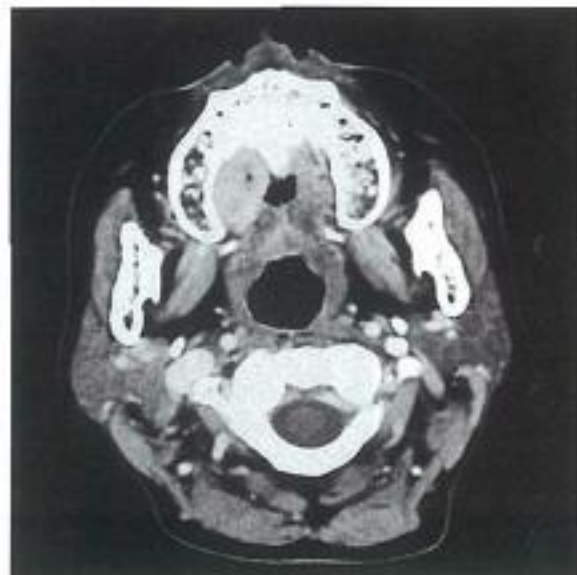
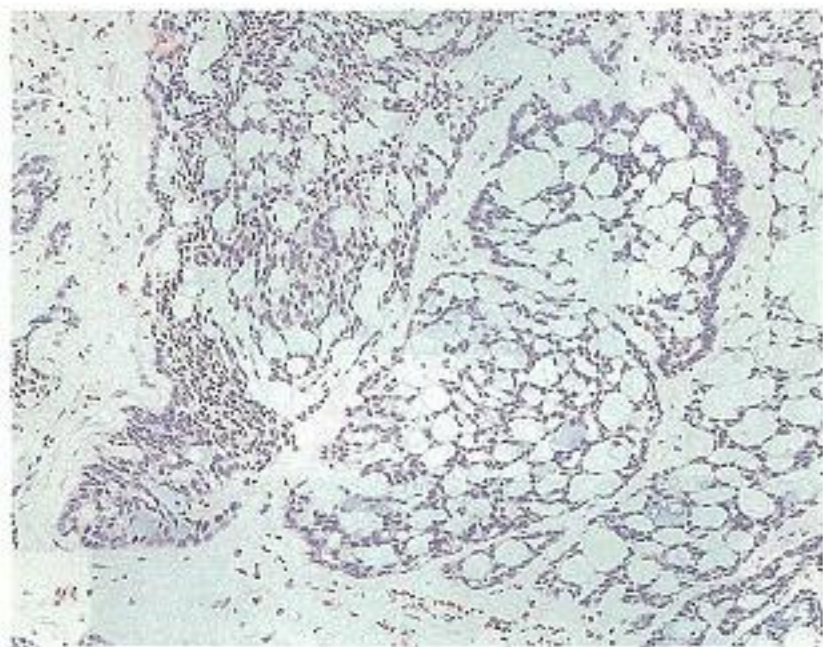


96D53

53 62歳の女性。口蓋部の腫瘍を主訴として来院した。2年前から気付いていたが、腫瘍は徐々に大きくなり、時々出血するようになったという。初診時の口腔内写真(別冊No. 26A)、CT写真(別冊No. 26B)および生検時の病理組織像(別冊No. 26C)を別に示す。

適切な治療法はどれか。

- a 免疫療法
- b 化学療法
- c 放射線療法
- d 凍結療法
- e 外科的切除



54 33歳の男性。咬合不全を主訴として来院した。2日前、左側下顎部を殴打され、噛み合わなくなったという。全顎的な歯の動揺が認められる。初診時の口腔内写真(別冊No. 27A)とエックス線写真(別冊No. 27B、C)とを別に示す。

整復後の固定法で適切なのはどれか。

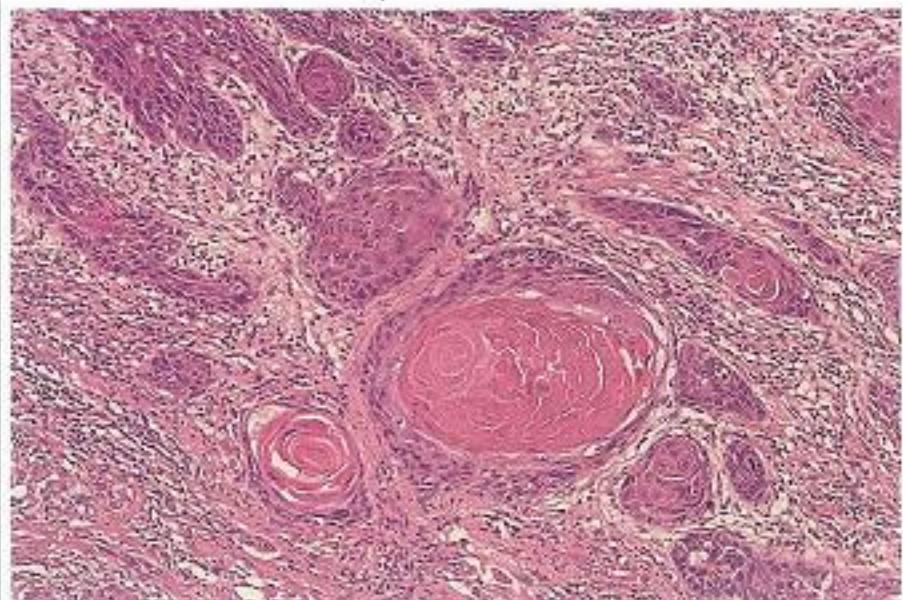
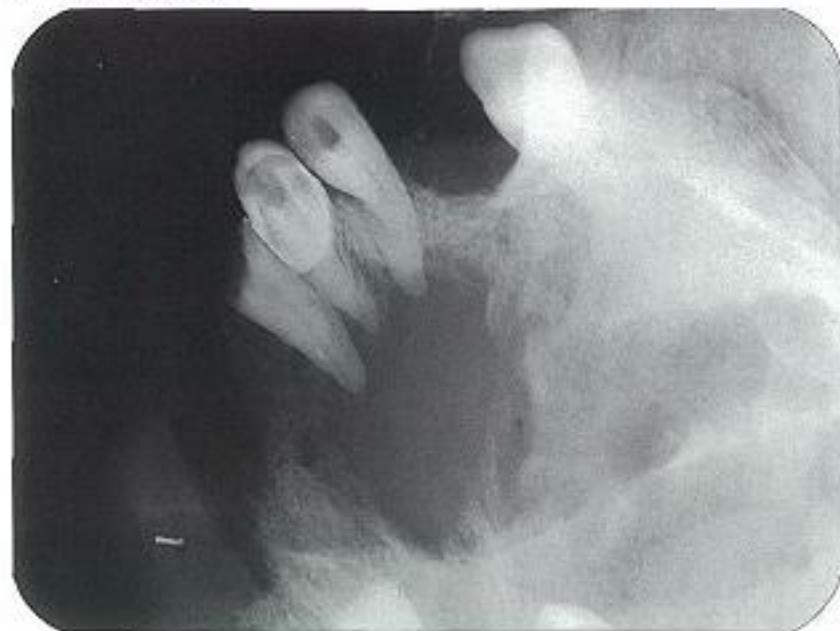
- a 連続歯牙結紮による顎間固定
- b 床副子による顎間固定
- c 骨ネジによる顎内固定
- d プレートによる顎内固定
- e 骨釘による顎外固定



55 69歳の男性。上顎右側小白歯部の腫脹を主訴として来院した。2か月前から鈍痛を伴い増大してきたという。腫瘤は易出血性で、肉芽様を呈していた。初診時のエックス線写真(別冊No. 28A)と生検時の病理組織像(別冊No. 28B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 血管腫
- b 歯根嚢胞
- c 原始性嚢胞
- d エナメル上皮腫
- e 扁平上皮癌



56 最も効果的な齲蝕予防法はどれか。

- a フッ化物の応用
- b 毎食後の歯磨き
- c 甘味制限
- d 規則正しい生活
- e クロルヘキシジン含嗽

57 成人性歯周炎のリスクファクターはどれか。

- (1) 糖尿病
- (2) 高血圧
- (3) 心疾患
- (4) 飲 酒
- (5) 喫 煙

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

58 不正咬合の疫学指標はどれか。

a CFI

b CPI

c DAI

d GI

e PDI

59 口臭検査に含まれるのはどれか。

- (1) 官能検査
- (2) 高速液体クロマトグラフィー検査
- (3) 唾液緩衝能測定
- (4) 歯周組織検査
- (5) 舌苔量測定

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| a (1)、(2)、(3) ; | b (1)、(2)、(5) | c (1)、(4)、(5) |
| d (2)、(3)、(4) | e (3)、(4)、(5) | |

60 学校歯科健康診断の結果の一部を図に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
上 下			右	✕	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左 上 下	
				E	D	C	B	A	A	B	C	D	E		
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	⑥	7	8

正しいのはどれか。

- a 小学校1～2年生の結果である。
- b DMF 歯数は2である。
- c Eは充填処置を必要とする。
- d 齲蝕活動性は低い。
- e 「6」に予防填塞がされている。

- 61 寝たきり老人に対する歯科保健医療で期待できないのはどれか。
- a 食生活の改善
 - b 言語発音機能の回復
 - c 顔貌の変化
 - d 介護者の負担軽減
 - e 初老期痴呆の改善

62 学校保健統計調査で小学生の被患率が高校生より高いのはどれか。

a う 歯

b 裸眼視力 1.0 未満

c 肥満傾向

d 蛋白検出

e 心電図異常

63 母子健康手帳で正しいのはどれか。

- (1) 保健所長が交付する。
- (2) 出生の届け出をした者に交付される。
- (3) 乳歯齲蝕の診断はCとCOである。
- (4) 妊産婦・乳幼児の歯の診査結果も記録する。
- (5) 保健と育児とに関する情報を提供する。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

64 正しい組合せはどれか。

- a グラスアイオノマーセメントの間質 ————— アルミノシリケート
ガラス
- b 光重合型レジンの重合阻止剤 ————— カンファークイノン
- c 高銅型アマルガム硬化体中の金属間化合物 ————— γ_2 相
- d 接着性モノマーを利用した歯質接着 ————— 水素結合
- e リン酸亜鉛セメントの硬化 ————— 共有結合

65 義歯裏層材として使用されるのはどれか。

- (1) シリコーンゴム
- (2) ポリサルファイドゴム
- (3) ポリエーテルゴム
- (4) ポリオレフィン
- (5) アクリルレジン

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| a (1)、(2)、(3) ; | b (1)、(2)、(5) | c (1)、(4)、(5) |
| d (2)、(3)、(4) | e (3)、(4)、(5) | |

66 流し込みレジンの特徴はどれか。

- a 気泡が多い。
- b 残留モノマーが少ない。
- c 適合性が良好である。
- d 機械的性質が優れている。
- e 吸水性が低い。

67 インレーワックスの主成分はどれか。

- a カルナウバろう
- b 蜜ろう
- c ダンマー
- d セレシン
- e パラフィン

68 鑄造熱源で最も高い温度が得られるのはどれか。

- a 高周波誘導炉
- b アーク炉
- c ガス-空気ブローパイプ
- d 白金抵抗線電気炉
- e ガス-酸素ブローパイプ

69 即時型アレルギーが発生するのはどれか。

- a 床用アクリルレジン
- b 酸化亜鉛ユージノール
- c ニッケルクロム合金
- d アマルガム
- e ラテックスグローブ

70 ニッケルチタン合金の矯正用線材として有用な特性はどれか。

(1) 形状記憶

(2) 耐蝕性

(3) 超塑性

(4) 超伝導

(5) 超弾性

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)